



stamp de megru USA

スタンプで巡る
豊の国歴史探訪 in カチがあるまち

宇佐





大分県文化遺産活用推進実行委員会



平成 24 年度 文化庁事業
文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業補助金



お問い合わせ

宇佐市観光協会

TEL.0978-37-0202

宇佐市観光まちづくり課

TEL.0978-32-1111

<http://www.city.usa.oita.jp>



悠久の時を巡る スタンプラリーの旅

価値ある史跡や文化遺産が数多く残る宇佐市には、豊かな自然と相まって、訪れる人々を魅了する観光名所が満載です。
このガイドブックではそんな宇佐を満喫するスポットを紹介すると共に、スタンプを集めると記念品がもらえるお楽しみ付き。
四季折々の季節を味わいながら、宇佐を余すことなくお楽しみ下さい。

スタンプに隠された言葉は？ 特集で掲載している歴史スポットを巡って記念品をゲットしよう！

01

「スタンプで巡る豊の国歴史探訪 in カチがあるまち宇佐」に掲載している歴史スポットを巡り、所定の場所に設置しているスタンプを各掲載ページに押します。

【スタンプラリー参加ポイント】

宇佐神宮 (P4)、大分県立歴史博物館 (P11)、四日市門前町 (P13)、鷹栖観音堂 (P15)、
桂昌寺跡地獄極楽 (P17)、東光寺五百羅漢 (P18)、宇佐海軍航空隊戦争遺跡 (P19)、双葉の里 (P21)、
院内石橋群 (P23)、東椎屋の滝 (P25)、安心院鑲絵群 (P27)、龍岩寺 (P29)

※スタンプ設置場所の休日、営業時間等にご注意ください。

※設置しているスタンプに不具合等が生じた場合、お手数ですが宇佐市観光協会までお知らせ願います。

宇佐市観光協会 所：宇佐市大字南宇佐 2179-3 TEL:0978-37-0202

02

12カ所のスタンプを集めると、1つの言葉が浮かび上がってきます。その言葉を巻末のハガキに書いて送って下さい。抽選で宇佐のカチある記念品をプレゼントします。

※締め切りは毎月月末です。 ※当選発表は記念品の発送をもって代えさせていただきます。

※複数回応募することは可能ですが、当選は1人1回とさせていただきます。

ココに
スタンプを
押し
ください。

A

B

C

周防灘

宇佐市全域マップ



豊後高田市

●豊後高田市役所

宇佐市

宇佐市街マップ

杵築市

中津市

自出町

玖珠町

由布市

別府市

●緑囲み文字は特集ページ掲載スポット(スタンプラリー対象)

A

B

C

1

2

3

4

A

B

C

1

2

3

4



双葉の里 P20 / 里の駅 双葉の里 P56

県道中津高田線

JR日豊本線

中津市

フラワーロード

城井一号掩体壕 P19
(宇佐海軍航空隊戦争道跡)

四日市門前町 P12~14

四日市IC

宇佐IC

鷹栖観音堂 P15

鳥居橋 P23

● 緑囲み文字は特集ページ掲載スポット(スタンプラリー対象)

A

B

C

02

宇佐市街マップ



長洲の町並み・浜の市 P34

東光寺五百羅漢 P18

大分県立歴史博物館 P10

宇佐神宮 P4

宇佐参宮線
26号蒸気機関車 P33

トキハインダストリー

四日市陣屋跡 P13

四日市北小

桜岡神社 P13

浄土真宗
本願寺派本願寺
四日市別院
(西別院) P13

地域特産品
アンテナショップ
「よろ〜や」

真宗大谷派
四日市別院
(東別院)
P13

サンリブ

四日市門前町

御許山・大元神社 P33

1

2

3

4

D

F

G

特集

ガイドさんと巡る
スタンプラリーの旅



「ガイドさんと巡るスタンプラリー」で
宇佐の旅を満喫
してくれたのは・・・

娘

瑞葉さん

実際に
めぐると
新しい発見が
ありますよ

母

藤丸笑美子さん



stamp



大楠 推定樹齢約800年の御神木は存在感も大。若い人々の
間でパワースポットとして人気。

【スタンプ設置場所】宇佐神宮上宮

神の社をたずねて

宇佐神宮

usa
jingu

571年、応神天皇の御神霊である八幡大神が宇佐の地に初めて現れた菱形池のほとり。うっそうと茂る鎮守の柱にはひとときわ神聖な空気が流れ、今も静かに御霊水が湧いています。聖武天皇が即位した翌年の725年に現在の場所に社殿が造立されました。

全国4万余社ある八幡社の総本宮・宇佐神宮。奈良東大寺の大仏建立の際、東大寺の守護神に宇佐八幡の分社(手向山八幡宮)を勧請したのが「分社」のはじまりで、それ以後、石清水八幡や鶴岡八幡など多くの八幡社が造られるようになりました。東大寺大仏の開眼供養には神輿に乗って奈良に上京したのが御輿のはじまり(御輿発祥の地)でもあります。また、奈良時代の僧・道鏡が皇位を得ようとした道鏡事件(宇佐八幡宮神託事件)では、勅使の和氣清麻呂が宇佐神宮の真意を問うため参宮するなど国家を左右する出来事に大きく関わり、伊勢神宮に次ぐ第二の宗廟として崇敬されていました。

伝来した仏教文化に日本古来の神道を融合させる神仏習合をいち早く取り入れたのも宇佐神宮です。国東半島に栄えた六郷満山文化にも大きな影響を与え、神仏習合文化発祥の地ともいわれています。日本最初の神宮寺といわれる弥勒寺跡のほか、仲秋祭(放生会)、鎮疫祭(御心経会)といった祭礼行事においても神仏習合文化を今に見ることができます。

日本の歴史を培ってきた背景と共に、最近では人気ダンス&ボーカルユニットのメンバーがヒット祈願に訪れたことから、境内にある御神木の太櫓がパワースポットとして脚光を浴びています。

南中楼門

(県指定有形文化財)

中央の門は普段は閉じたまま、皇室の勅使参向の時だけ開くため、勅使門とも呼ばれています。

宇佐神宮ガイドの「ちょっといい話」

宇佐神宮は謎が多く、知れば知るほど奥深い! 地方の神でありながら、日本の歴史に大きな影響を与えていたんです。神でありながら仏を守り「八幡大菩薩」という神仏習合の表れである称号を最初に付けたのも宇佐神宮なんです。

ガイドさんの「おすすめスポット」

境内の“ハート”探し

一見ハートの形に見えますが、実はイノシシの目を二つ合わせた形。昔、イノシシは火から守ってくれる動物とされ、火事が起こらないようにとの願いを込め至る所にイノシシの目を光らせていたと考えられています。宇佐神宮が山の上に位置していたため、火事は特に恐れていたとか。



宇佐市観光ガイド
佐藤 稔明さん
(さとうしんあき)

ガイド歴15年

宇佐神宮

usa jingu

呉橋(県指定有形文化財)

寄歳川に架かる檜皮葺の屋根が特徴の県指定有形文化財。かつて朝廷から宇佐に派遣された勅使が通った名残から、現在でも10年に1度の勅使祭の時だけ扉が開かれます。



弥勒寺跡

725年の弥勒禅院の建立後、聖武天皇の援助により建立され、初代別当(長官)には虚空蔵寺の僧法運がついたといわれています。神社の境内に立つ寺は神仏習合の典型であり、明治の神仏分離政策によって切り離されたため、現在残っているのは礎石のみ。



宇佐神宮本殿(国宝) 向かって左から一之御殿、二之御殿、三之御殿に、それぞれ応神天皇(八幡大神)、比売大神、神功皇后が祀られています。檜皮葺白壁朱漆塗の社殿を側面から見ると、前後に切妻屋根の内院と外院が連結しているのがわかります。これは「八幡造」という古い神社建築様式の一つで、宇佐神宮本殿はその代表例として国宝に指定されています。また、前後の軒の谷間には「宇佐の黄金樋」と呼ばれる雨樋を見ることができます。



宇佐鳥居(県指定有形文化財)

額東が無く、柱上に黒い台輪が置かれた宇佐古来の形式の鳥居。西大門前に位置するこの鳥居は、宇佐神宮の鳥居の規格となるものです。

夫婦石

若宮神社付近にある石畳の中に、三角形の石が寄り添うように並んでいるものがあります。夫婦やカップルで訪れた時には手をつないで一緒に、1人の時は両足で踏むと幸せになれるとか。

**宇佐神宮社叢(国指定天然記念物)**

境内の鎮守の杜はイチイガシや楠などが生い茂る常緑広葉樹の原生林として天然記念物に指定されています。

国宝だけあって、
厳肅な雰囲気
漂うね

伊勢神宮と
並び称される
神社よ



宇佐神宮

usa jingu



孔雀文幣(国宝)

弥勒寺の遺品である孔雀文幣は、石清水八幡宮の別当法印が弥勒寺に奉納したもので、国内第一級の美術工芸的価値のある国宝に指定されています。孔雀文幣は現在、宝物館で見ることができます。



宝物館

さまざまな国・県・市指定の文化財などを展示。宇佐神宮の歴史に触れることのできる八幡文化の殿堂です。また宝物館前の初沢池には7月～8月にかけて、美しい原始ハスが咲き誇ります。

🕒 9:00～16:00 📺 火曜

🎫 大人300円、中・高校生200円、小学生100円



宇佐神宮 境内MAP



TEL.0978-37-0001

📍 宇佐市大字南宇佐285 🕒 (4月～9月)5:30～21:00 (10月～3月)6:00～21:00 ※正月期間中を除く

📺 なし 📺 なし 📺 400台(有料)

MAP P1-B2 P3-D3

宇佐神宮ゆかりの仏像を訪ねて

神仏習合の神宮寺であった弥勒寺も、明治政府による神仏分離政策で廃仏毀釈を余儀なくされました。かつて弥勒寺に収められていた仏像が移された寺や大宮司の菩提寺など、宇佐神宮ゆかりの寺へと足をのぼしてみませんか。



大善寺

薬師如来坐像や脇侍の日光・月光菩薩立像、不動・愛染明王像が弥勒寺から移されました。像高2.8m、檜の寄木造りの薬師如来坐像は国指定重要文化財に指定。

(宇佐八幡駐車場より徒歩10分)

TEL.0978-37-2827

■ 宇佐市大字南宇佐2801

■ 不定 ■ なし

■ なし



極楽寺

弥勒寺講堂の本尊であった弥勒仏坐像（県有文）や宇佐神宮第三式堂に安置されていた仏足紋の阿弥陀如来立像がここに移されました。また宇佐神宮の宝庫に所蔵されていた髪補浄土曼荼羅や、これを拝観した勝海舟、山県有朋などの書も残っています。

(宇佐八幡駐車場より徒歩1分)

TEL.0978-37-0407

■ 宇佐市大字南宇佐2176 ■ 自由 ■ なし ■ なし



大楽寺

後醍醐天皇の勅願寺、宇佐神宮大宮司到津家の菩提寺。本尊の弥勒仏、脇侍、四天王など平安時代の仏像7体が国の重要文化財に指定されているほか、県、市指定の文化財も数多く護持されています。

(宇佐八幡駐車場より徒歩5分)

TEL.0978-37-0356

■ 宇佐市大字南宇佐2077

■ 300円 ■ 10台



宇佐・国東半島の歴史を網羅する

先人達に学ぶ大分の歴史がここに

oita
kenritsu
rekishi
hakubutsu
kan

大分県立歴史博物館

先史時代から近代まで、宇佐・国東半島を中心に、大分県の歴史や文化を伝える資料約 800 点。「富貴寺大堂の世界」「信仰とくらし」「広がる仏教文化」「六郷山の文化」「生死いのり」「豊の古代仏教文化」「宇佐八幡の文化」の 7 つのブースごとに実物に忠実に再現された複製や出土品などを展示しています。博物館のある宇佐風土記の丘は、総面積 19.2 ヘクタールの史跡公園で、敷地内には九州最古の前方後円墳とされる赤塚古墳をはじめ 6 基の前方後円墳があり、四季折々に彩る自然と共に訪れる人々を楽しませてくれます。

ガイドさんからの 「ちょっといい話」

宇佐神宮や国東半島を回る前にお立ち寄り下さい。ここで知識を得てから散策すると、実物を見た時の感動もひとしお。展示している昔の富貴寺と現在の姿を見比べてみるのもおもしろいですね。

主幹学芸員
菅野 剛宏さん
(かんのたかひろ)

ガイド歴 16年



仏様の形がよく残ってるよ

国の重要文化財
なんだって



富貴寺大堂の世界

九州に現存する最古の木造建築物「富貴寺大堂」を創建当時の姿に再現。木造阿弥陀如来坐像(複製)、富貴寺大堂壁画(横写)など内部空間も当時のまま再現されています。

生死いのり

旧石器時代から古墳時代の暮らしがわかる様々な出土品。大分県内で発掘された土偶や、赤塚古墳で出土した三角縁神獣鏡の複製があります。

豊の古代仏教文化

奈良時代から平安にかけて大分県北部にあった古代寺院の出土品を展示。虚空蔵寺三重塔(縮小復元模型)、天福寺奥院塑造三尊仏像(国重文)などを見ることができます。

宇佐八幡の文化

全国八幡宮の総本宮・宇佐神宮の歴史を紹介。境内に弥勒寺があった風景や、宇佐神宮本殿の全体像がわかる模型があります。

六郷山の文化

宇佐神宮にあった弥勒寺僧侶の修行の場から発展した国東半島独特の仏教文化を紹介。宇佐神宮と六郷山の結びつきを伝える木造太郎天・二童子立像(複製)を展示しています。

広がる仏教文化

県内の仏教文化遺産の展示と石文化の紹介。白杵磨崖仏(複製)や木造兜跋毘沙門天立像(複製)は実物さながら。

信仰とくらし

江戸時代後期の庄屋の家屋・後藤家住宅の実物大模型や神仏への奉納物など、昔の生活や信仰を知ることができます。



川部・高森古墳群(国指定史跡)

博物館のある宇佐風土記の丘。6つの前方後円墳は宇佐平野を支配していた豪族の墓と考えられ、うち、鶴見古墳と免ヶ平古墳は墳丘と石室を復元し、中を見学することもできます。
※写真は赤塚古墳。

TEL.0978-37-2100

- 📍 宇佐市大字高森字京塚1
- 🕒 9:00~17:00(入館は~16:30)
- 📅 月曜(祝日の場合は翌日)
- 👤 大人300円、高・大学生150円
- 📺 140台

MAP P1-B1
P3-D2



宇佐神宮本殿

側面から見ると、同じ建物が前後に並ぶ八幡造という独特の建築様式がわかります。



白杵磨崖仏

国宝・白杵磨崖仏のうち阿弥陀如来、観音菩薩、勢至菩薩の複製を展示。



虚空蔵寺三重塔
古代寺院の境内に存在した三重の塔の優美な姿を再現した。

stamp

えびすさん

四日市は、えびす巡り
も人気です。



京風の町並み散歩

400年の歴史が香る 京風の門前町を散策

四日市門前町

yokkaichi
monzen
machi

戦国時代、大友宗麟の招きで肥前国鬼子嶽城 14代城主・渡辺政の子渡辺筑後守光がこの地に居を構え、一族郎党と共に移り住んだのが四日市のはじまり。その際、鬼子嶽城から四日市に蛭子宮を移し、産神として祀ったことから現在でも毎年12月に「恵比寿祭」が開催されています。「えびす通り」と呼ばれる通りもあり、様々な表情のえびす像に出会うことができます。

四日市の大きな特徴は、浄土真宗本願寺の東西別院が細い道路をはさんで並んでいること。江戸時代中期、東本願寺の末寺にあたる真勝寺騒動が起り、江戸の寺社奉行大岡越前守忠相の裁きで真勝寺は東本願寺に下附、東本願寺四日市別院が誕生することとなりました。真勝寺の住職を含む西派寺院は、のちに幕府の許可を得て西本願寺四日市別院を創設。西側に東別院、東側に西別院が隣接して立つ全国的にも珍しい門前町です。

400年の歴史を持ち、宿場町・陣屋町としても栄えた四日市。古い町並は、受け継いできた伝統文化を感じることのできるっておきの散策コースです。

ガイドさんからの
「ちょっといい話」

東西別院が並んで立つのはとてもめずらしいですよ。門前広場から極楽通り、県内で2番目に古い石橋、そして東西別院とストーリーに沿ってご案内します。



四日市伝統技能伝承クラブ
四日市街並み散策ガイド部会 部長

末雅 太さん
(すえまた)

ガイド歴4年



京都さながらの
風景を見ることが
できるなんて…

歴史を
感じさせてくれる
町並ね



浄土真宗本願寺派本願寺四日市別院(西別院) ↑

1746年に創建し、現存の本堂は1859年に再建されたもの。釘を1本も使わないケヤキ造りで、間口29.5メートル、奥行31.5メートルは九州最大級の木造建築です。

TEL.0978-32-0050

📍 宇佐市大字四日市1425-1 📞 無料 📺 なし

桜岡神社 →

肥前国鬼子嶽城から四日市に蛭子宮を移し祀ったのが桜岡神社の始まり。市屋敷敷に遷し、毎月4日に神前で市を開いたことが「四日市」の地名の由来です。蛭子・稲荷・天神に伴う大祭があり、恵比寿祭りは神楽、稲荷祭りは子供御輿、天神祭りに山車が出ます。

TEL.0978-33-2590

📍 宇佐市大字四日市
📞 無料 📺 なし



四日市陣屋跡(市指定史跡) ↑

陣屋門のあった一帯は、地頭・渡辺守光が築いた四日市城があった場所です。廃城から100年の後、中津城主・小笠原氏の所領が家中不取り締まりにより半地召し上げとなり、幕府代官所が置かれた四日市陣屋。その後、天草代官支配から日田代官支配と変わり、明治時代まで幕府天領支配が続きました。明治元年に御許山騒動で陣屋が放火に合うも陣屋門は焼け残り、宇佐郡役所、宇佐郡高等学校、郡立農学校、四日市高等女学校、四日市高校へ変遷する中、それぞれの正門として使用されました。

📍 宇佐市大字四日市 📞 無料 📺 なし

**真宗大谷派四日市別院 ↓
(東別院)**

明治維新の動乱によって焼失した本堂は1880年に九州の門徒によって再建。国登録有形文化財の本堂、県指定有形文化財指定の二階建二重の山門など、重厚な木造建築を見ることができます。

TEL.0978-32-1901

📍 宇佐市大字四日市1410
📞 無料 📺 10台



stamp

[スタンプ設置場所]

地域特産品アンテナショップ「よろへや」

TEL.0978-25-7775

📍 宇佐市大字四日市1397-2

📞 9:00~18:00 📞 なし 📍 P3-D4

MAP P1-B1 P2-C2・3

知ちっよんかえ？いっぺんためしちよくれ！

四日市体験型観光

Let's try

申込先 / 四日市伝承クラブ TEL.090-3666-1578

四日市の文化や伝統を「見て」「作って」「食べて」体験してみませんか？

01 お数珠づくり



インストラクターの指導のもと、紐に主玉を通し、房を選んで自分だけの数珠を作ってみましょう。紐の切れた数珠などの修理もできます。

体験料 数珠：2,000円～
腕輪：500円～

02 四日市人形絵付け



明治時代から昭和20年代まで作られていた四日市人形。人形を作り絵付けも行いながら、玩具の歴史を学ぶことができます。

体験料 小：500円～ 大：1,500円～
小学生以下・10名以上：300円～

03 ガイド付き街並み散策



古い町並が残る四日市。本願寺東西別院が小路を挟んで並ぶ珍しい門前町を、ガイドさんと一緒に散策してみませんか？

体験料 デイ・ナイト散策：500円
えびす巡り：500円
小学生以下10名以上：200円

04 門前食おもてなし



四日市に古くから伝わる門前久々焼餅、米粉を使ったほうとう汁など、地元産の素材を使った和菓子。散策の途中にいかが？

体験料 500円～1,000円

祈りの道を歩く 01

fakasu
kannon
do

自然に溶け込んだ仏の悟り

鷹栖観音堂

「小耶馬溪」「鷹栖の仙境」と呼ばれる景勝地にある鷹栖観音堂は、奈良時代に僧法蓮によって建立されました。対岸にある観音寺の奥院として建てられたのが観音堂。岩壁に背を持たせて前面を柱で支えるように舞台を作り、その上に堂舎をのせる「懸造り」は、県内でも珍しい建築様式で、内陣の柱や板壁の墨書などから江戸時代後期のものと推測されています。御堂の中には平安時代の3体の木彫仏が納められ、文化財を保護するため、奥の院の下に慈眼堂も造られました。

特集 ガイドさんと巡るスタンブラーの旅



あんな
場所によく
道ったわね



鷹栖観音の鬼会(市指定無形民俗文化財)

無病息災、五穀豊穡を願い、毎年1月4日の夜になると締め込み姿の若者が火の付いた松明を持ち、駅館川を渡って鷹栖観音堂に参拝します。火柱が燃え上がるどんど焼きの後、火の粉を散らすたいまつ合戦、そして再び駅館側を渡って観音寺に戻ります。約1300年もの歴史を持ち、市の無形民俗文化財にも指定されています。



鷹栖つり橋公園

対岸の鷹栖観音堂側へと向かって駅館川に架けられた全長132.5mの鷹栖つり橋は、鷹が百間岩の巢へと帰って行く姿、また、人が鷹栖観音堂に向かって合掌している姿をイメージしています。つり橋公園には観光客用にトイレ、遊歩道、東屋などが整備されています。

ガイドさんからの「ちょっといい話」

鷹栖観音は「智恵観音」として知られ、学業成就を願い受験生などにも人気があります。奥の院は切り立った岩に張り付くように立っていますから、崖っぷちでも合格できるかも!?

宇佐市観光ガイド
時枝庸子さん
(ときえだつねこ)

ガイド歴1年



stamp

所 宇佐市大字上拜田・山本 料 無料 25台

MAP P1-B2 P2-C4

【スタンプ設置場所】 つり橋公園駐車場東屋



祈りの道を歩く 02

待っているのは地獄か極楽か。闇の中で体験するあの世の風景

桂昌寺跡地獄極楽

keishoujiato
jigoku
gokuraku

ガイドさんからの 「ちょっといい話」

全国的にも珍しいこの「地獄極楽」のすぐそばに実家がありました。絵に描いた「地獄極楽」は良くありますが洞窟の中に仏像として残っているのは本当に珍しいです。「蜘蛛の糸」のように鎖を伝って上っていくと由布山の素晴らしい景色にも出会えます。まさに極楽浄土です。

地獄極楽
ボランティアガイド
古恵良 菊男さん
(こゑらきくお)

ガイド歴20年



約70メートルの洞窟の中に広がる死後の世界。まずは閻魔大王を中央に牛頭羅刹と馬頭羅刹が並ぶ閻魔の庁で生前の裁きを受けます。地獄道と極楽道への分かれ道では地獄道を選択。三途の川の奪衣婆、赤鬼青鬼など暗闇に浮かび上がってくる様々な石像に迎えられながら、当時の人の手で造られた地獄の世界を堪能します。狭くて暗い道を抜けて菩提坂を進むと、今度は極楽道へ。地獄に比べると幅も広く、十三仏に見守られながら外界の明るい陽射しの元へと導かれ、来迎弥陀の前にたどり着きます。さらに鎖に伝わりながら細い縦穴を上げれば、阿弥陀如来や菩薩様が点々と現れた極楽浄土へ。地獄から極楽、そして極楽浄土へのストーリーが完結します。

室町中期に開基した桂昌寺は、江戸時代に無住荒廃し江戸末期に天台僧・午道法印によって復興。庶民を仏の教えへと導くために、本堂の裏にこのような地獄極楽の風景を作ったと言います。暗い洞窟の中を俗世から離れた没後の世界に見立てた、当時としても画期的なミステリースポットだったと考えられます。



本堂の前にある案内図。まずは地獄を通ってから極楽へと進みます。

死後の世界の入り口。

高さ5メートルの縦穴を上ると、極楽浄土が待っています。



苦勞しないと極楽浄土へは行けないのね

そうね 教えなのかもしれないね

観音菩薩と勢至菩薩の待つ極楽。

ツウな豆知識

ここにも閻魔様が...

福厳寺閻魔洞(市指定史跡)

隣の院内町二日市にある福厳寺にも閻魔洞があります。亡者の衣服をはぎ取る奪衣婆と、地獄へと引きずり入れる牛頭馬頭に迎えられ、奥には閻魔大王を中心に罪の軽重を判断する十王たちが待ち受けています。



MAP P1-B3

stamp

〒 宇佐市安心院町東恵良
 無料 P 10台

MAP P1-C3

[スタンプ設置場所] 桂昌寺跡御堂前

喜怒哀楽の石像に願いを込めて

東光寺五百羅漢



仏足石 本堂裏にある仏足石。奈良薬師寺にある唯一の仏足石を模して作った全国的にも貴重なもの。

いるいる！
こういう
笑顔の人

一つひとつに活き活きとした表情を見ることができます。



歯を見せる大きな笑顔、口をへの字に結んで考え込む姿、あっかんべーをするユニークなものなど、豊かな表情の羅漢石像が並ぶ、その数521体。干害に苦しむ住民を救うため、15代住職・玉峰道琳が日出町の石工・吉野覚之丞に依頼し、1859年から24年の歳月を経て掘りあげたと言います。五百羅漢とは、釈迦の教えを広めるために集まった、悟りの境地に達した聖者のこと。一つひとつをじっくり眺めていくと、身近な人や自分自身にそっくりな顔を見つけ、思わず微笑んでしまいます。五百羅漢のある東光寺は、1362年に臨済宗として開山。戦国の時代に焼失後、17世紀半ばに曹洞宗として再興された古刹です。本堂の裏にはお釈迦様の足の形を刻した仏足石もあり、五百羅漢と共に宇佐市有形民俗文化財に指定されています。

521体が並ぶ様子は圧巻。



stamp

ガイドさんからの「ちょっといい話」

五百羅漢の奥には16羅漢もあり、それらもまたいい顔をしています。全部で537体ありますから、自分に似た表情の石像に必ず出会えますよ。

宇佐市観光ガイド
高見美代子さん
(たかみみよこ)

ガイド歴1年



TEL.0978-38-3830

■ 宇佐市大字江須賀1754
■ 100円 ■ 15台

MAP P1-B1
P3-D2

城井一号掩体壕(市指定史跡)

上空の敵に土を盛った小山のように見せ、爆撃から免れるため造られました。



軍用機の格納庫なんて初めてみたわ

戦争の跡を大切に残しているのね

特集 ガイドさんと巡るスタンプラリーの旅

ガイドさんからの「ちょっといい話」

「城井一号掩体壕」は日本で2番目に戦争遺跡文化財に指定されたんです。1番目は沖縄のひめゆり学徒隊のいた沖縄陸軍病院南風原壕跡、3番が広島原爆ドームというから、どれだけ重要なものかわかります。



ガイド(豊の国宇佐市塾頭)

平田 崇英さん
(ひらたそうえい)

ガイド歴20年

悲しい過去から平和を学ぶ

平和への願い、新たに・・・



宇佐海軍航空隊 戦争遺跡

軍用機を空襲から守るための格納庫「掩体壕」、爆弾の衝撃で田んぼの真ん中にあいた直径10メートルの池、弾痕の跡が残るレンガ造りの建物など、所々に見られる戦争の記憶。第二次世界大戦が始まる1939年10月、宇佐市に宇佐海軍航空隊がおかれ、太平洋戦争末期には特攻隊の基地となつて154名の若者が南の空へと飛び立っていきました。負の遺産を平和のシンボルとして後世に伝えるため、宇佐市は掩体壕を「城井一号掩体壕」として史跡に指定。特攻機を見送った滑走路跡には石碑が立ち、史跡公園内には特攻隊員154人の名が刻まれた碑もあります。見逃してしまうほど自然に佇む「二度と繰り返さない」の誓いの跡。宇佐を知る上でも重要な歴史のひとつです。

滑走路跡

特攻機の滑走路跡に重なるように作られた道路。帽子を振って特攻機を見送った場所にモニュメントが建てられています。



爆弾池(市指定史跡)

宇佐市海軍航空隊跡に残る爆弾投下の跡。終戦後は多く残っていた爆弾池も現存するのは1つのみ。



stamp

■ 宇佐市大字城井159※城井一号掩体壕

■ 無料 ■ 10台

MAP P1-B1 P2-C2

[スタンプ設置場所] 掩体壕内記帳台

宇佐が誇る国民的英雄
“相撲の神様” 生誕の地

双葉の里

futaba
no
sato

前人未到の69連勝を打ち立てた第35代横綱・双葉山。この大記録を生んだ背景には、当時の宇佐郡天津村で過ごした子供時代、事業に失敗した父親の仕事を手伝って船の仕事に勤しんだ経験が、後に「双葉山の二枚腰」と呼ばれる強靱な足腰とバランス感覚を養ったと言われていました。

昭和14年1月場所4日目、安芸ノ海に破れ連勝がストップした日、双葉山が知人に送った電報は「ワレイマダモッケイタリエズ(われ未だ木鶏たりえず)」。木鶏とは、双葉山が目指した無心の境地、最強の姿を指しています。木鶏を目指し「相撲道」に精進した双葉山は生涯一度も立ち合いで「待った」をしなかったと言います。その取り口は受けて立ちながらも先手を取るゆえ「後の先」と呼ばれ、子供の頃、事故で右目を失明し、さらに右手小指の先を潰してしまうというハンディを乗り越え、大記録を成し遂げたのでした。

スポーツだけではなく成績も優秀で、ケンカやイヤズラをすることもなかった幼少期、現役時代はハンディを悟られぬよう努力を重ね、引退後は相撲協会の理事長として相撲界に大きな功績を残した英雄。生誕から100年が過ぎた今もなお愛され続ける所以です。



ガイドさんからの「ちょっといい話」

双葉山の手形に自分の手を合わせてみたり、大きな銅像のお腹や足に触れてパワーをもらって下さい。双葉山は学問にも優れていましたから子どもたちにもその御利益を受けてもらいたいですね。

双葉の里 館長 新貝文俊(しんかいふみとし)さん

ガイド歴12年





イケメンな横綱
だったんだね

人格者としても
魅力的な人
だったそうよ

双葉山像

資料展示室に入るとまずは実物1.5倍の
双葉山像がお出迎え。

双葉山生家跡

双葉山が生まれ育った生家を復元。木造
茅葺きの家の中はかまどのある土間、3帖、
7.5帖の居間など当時の間取りを再現して
います。



TEL.0978-33-5255

〒 宇佐市大字下庄269

☎ 9:00~17:00

🗓 第3月曜(祝日の場合は翌日)、12/29~1/3

🎫 無料

📍 24台

MAP P1-A1 P2-B1



資料展示室

活躍シーンを映像で振り返る映像部屋、
当時の番付や使用していた日用品の展
示、さらに実際に触れることのできる
手形・足形やレプリカの羽織など双葉
山を身近に感じることができます。現
役時代と引退後に残した多くの名言の
中から相撲だけではなく人生の教訓と
なるメッセージも紹介しています。

超六十連勝力士碑

大相撲史上60連勝以上を記録した横綱
の手形とサイン入り石碑。双葉山の69
連勝を筆頭に、63連勝の谷風(第4代横
綱)と白鶴(第69代横綱)の3人のみ。

stamp

その数、その美しさ… 日本一の石橋のまち

院内石橋群

Innai
ishibashi
gun

細くすらりと長い橋脚や、その姿を水面に映す美しいフォルム。町内を流れる川には至るところに石橋がかかり、周囲の自然に溶け込んだ院内町ならではの風景を描き出しています。町単位として日本一を誇る石橋、その数 75 基。うちアーチ形のめがね橋は 64 基とこれも日本一。このように石橋が院内に多く点在する理由は、深い谷に集落があること、川の流が急で、谷の下に架けた木橋では流されてしまうため頑丈な石橋が必要だったこと、石橋造りに適した石が豊富に採石できたこと、そして技術の高い石工が存在していたことにあります。中でも鳥居橋や荒瀬橋など十数基を手掛け、石橋王と呼ばれた名棟梁・松田新之助の存在は大きかったといえるでしょう。関西でアーチ橋設計の技術を学んだ後、院内の地形に合うアーチ橋の架設に尽力し、架設中に崩落した富士見橋には、私財をなげうって完成させたというエピソードも残っています。現存する石橋のほとんどが現役で、今もなお人々が道として生活シーンを彩ります。また、平成 23 年には地元小学校で親子が力を合わせ、76 基目となる石橋を完成させました。院内町は石橋を愛する心も日本一と言っても過言ではないでしょう。





烏居橋(県指定有形文化財)

橋脚の優雅さから「石橋の貴婦人」と呼ばれる院内を代表する石橋。豊州鉄道第2駅館川橋架が流出した昭和26年の大型台風にもびくともしませんでした。これは設計・都留清一郎、石工棟梁・松田新之助の技術の確かさを物語ります。

御沓橋(県指定有形文化財)

全長59メートルの市内で最も長い石橋。三連のアーチと大正期のモダンさが眺める人を魅了します。



ガイドさんからの
「ちょっといい話」

人気の石橋もその物語を伝えることで良さがわかるんですね。夜にはライトアップされる石橋もあるので、昼間とはまた違う幻想的な姿もご覧になっていただきたいですね。石橋はもちろんですが、逸見邸の日本庭園も見どころのひとつ。4～5月はツツジやミヤマキリシマ、サツキが咲き誇りますよ。撮影にも最適！

院内ふるさとガイド
向野茂さん
(むくのしげる)

ガイド歴9年



stamp

院内石橋群

Utsunomiya
Ikebuchi
gun.

荒瀬橋(市指定有形文化財)

高さ18.3mは町内最高を誇り、深い谷に架けられた院内の石橋を象徴するものの一つ。道の駅から程近く、散策にも最適。



江戸時代から昭和に造られた橋なんだって

今の技術なしでこんな頑丈な橋が造れたんだね



分寺橋(市指定有形文化財)

三連のアーチが川面に映った姿と相まって一つの風景を完成させています。戦時中の大改修にも関わらず、丁寧に石積みされた美しい姿を今に伝えています。



TEL.0978-42-6040

(宇佐市観光協会院内支部)

〒宇佐市院内町副1381-2

9:00~17:00 火曜日

MAP P2-C4他

富士見橋 (市指定有形文化財)

名棟梁・松田新之助の逸話が残る橋で、ここから豊後富士(由布岳)を望めることから名付けられています。



絶景と文化にふれる 02

higashi
shiiya
no taki

美しき、高貴端麗な名瀑

東椎屋の滝

85メートルの断崖から垂直に落下する様子が、日本三大名瀑の一つ・日光の華厳の滝に似ていることから「九州華厳」と称される東椎屋の滝。日本の滝百選にも選ばれています。駐車場から滝まで約300メートルの遊歩道が溪流沿いであり、夏は清々しい緑とその間から降り注ぐ陽射しをあび、秋には周囲を赤く映す紅葉を愛でながら歩く楽しみがあります。カジカの鳴き声がどこからともなく聞こえてくるのも何とも贅沢な贈り物。滝を裏側から見ることでできる福貴野の滝、豊かな水量で迫力満点の西椎屋の滝と共に宇佐三滝として多くの人が訪れます。夏の滝開きが東椎屋の滝で行われる時だけ、ホラ貝を吹く山伏が姿を現します。


**帆足万里碑
(市指定史跡)**

江戸時代、日出藩の儒学者として活躍した帆足万里。夢にまで見た東椎屋の滝を「心潔むる地」と語り、2度訪れた時の詩を読んだ歌碑が残っています。



特集 ガイドさんと巡るスタンプラリーの旅

マイナス
イオン
いっぱい!
東椎屋のイチイガシ(市指定天然記念物)

東椎屋の滝入り口付近にある熊野神社。ここには樹齢400～500年のイチイガシの太木が2本並んでいます。この地方にはシイやカシの木が多かったことから「椎屋」という地名が付いたという説も。空に仰ぐようにのびる力強い御神木です。

ガイドさんからの「ちょっといい話」

ここの食堂から徒歩10分という腰が引ける人が多いのですが、帰ってくると「行って良かった～」と言ってくれます。気品のある格調高い姿はもちろん、夏の涼しさは格別。天然のミストに癒されてください。

民宿・食事処「滝見苑」

池田由美さん
(いけだゆみ)

ガイド歴1年



stamp

TEL.0978-34-4839 (宇佐市観光協会安心院支部)

用 宇佐市安心院町東椎屋
 用 普200円、中型300円、大型500円

MAP P1-C4

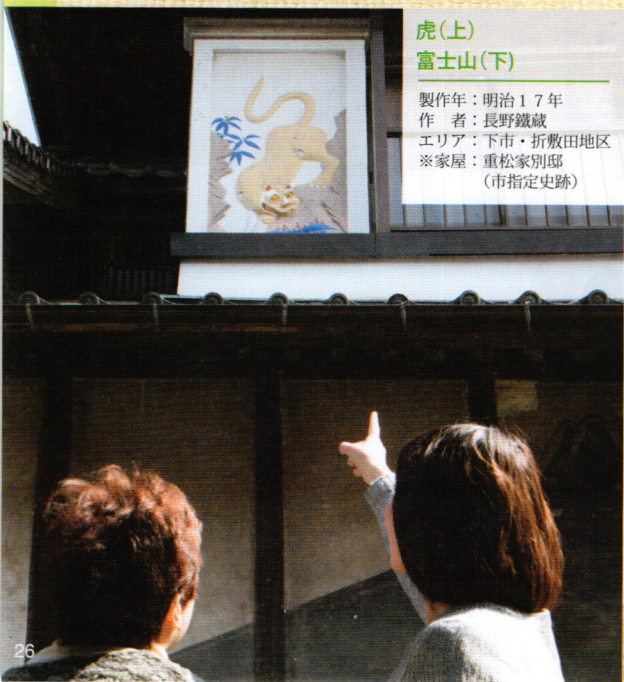
[スタンプ設置場所] 東椎屋の滝駐車場管理棟

鮮やかな漆喰画が伝える 今も昔も変わらない人々の願い

安心院鍔絵群

ajimu
koteegun

「一富士二鷹三茄子」「松に溪谷の鷲」「赤い扇に兎」など、日本ならではの縁起ものを鮮やかな色彩で彩った鍔絵。民家や土蔵の壁面に左官職人がコテを使って絵を描いたレリーフです。その歴史は高松塚古墳や法隆寺金堂の壁画と古く、江戸時代後半から昭和にかけて各地に広がりました。全国約3000カ所とも言われる鍔絵のうち、大分県では600点を超す鍔絵が確認されており、その文化は「大分の鍔絵習俗」として国選択無形民俗文化財に指定されています。その大分県において80カ所余りの鍔絵がある安心院町は、設置密度日本一の鍔絵のまち。その背景には、腕のいい左官職人が安心院に多く存在していたこと、漆喰の材料となる貝が近くにあったこと、養蚕業でまちが豊かだったことなどが挙げられます。当時は、大工や左官が中心となって家を建てていたので、家が完成する最後の仕上げとして棟梁がお祝いに作ったと言います。100年以上の時を経て、雨が当たっても尚その色を美しく残すのは、浮き彫りになった表面のみに色を付ける「上塗り」ではなく、下地から色を塗り被せて練り込んでいく手間をかけた仕事(練り込み法)の賜。職人の心意気を感じながら、当時に思いを馳せるのも安心院散策の楽しみ方の一つです。



虎(上)
富士山(下)

製作年：明治17年
作者：長野鐵蔵
エリア：下市・折敷田地区
※家屋：重松家別邸
(市指定史跡)

ガイドさんからの 「ちょっといい話」

昔は左官さんが漆喰を使って、新築のお祝いに描いていた鍔絵。短い距離で新旧30箇所も鑑賞できるのは安心院ならではの空襲もなく、道の改修がなかったことが幸いしました。百年たっても色が変わらず、古いものが集中しているので見ごたえがありますよ。

鍔絵ボランティアガイド
上鶴養正さん
(かみづるやすまさ)

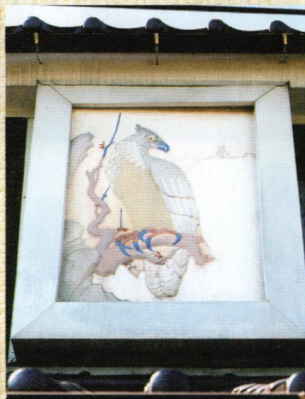
ガイド歴13年



龍 製作年：明治17年
作者：長野鐵蔵
エリア：下市・折敷田地区
※家屋：重松家別邸(市指定史跡)

**恵比寿、大黒、
鯉の三番叟** 時代：明治28年
作者：長野鐵蔵
エリア：下市・折敷田地区

雁に人 製作年：明治20年
作者：佐藤本太郎
エリア：大地区



**朝顔、
雷** 製作年：明治15年
作者：長野鐵蔵
エリア：龍王地区
※家屋：古庄家別邸(市指定有形文化財)

鷺 製作年：明治20年
作者：長野鐵蔵
エリア：龍王地区

縁起を担ぐのは
今も昔も同じね

七福神、龍虎、
鶴亀…
おめでたい絵柄が
多いな



stamp

ツウな豆知識

門人墓の残る左官職人 長野鐵蔵

山上重太郎、佐藤本太郎と並んで多くの作品を残した長野鐵蔵。14人の弟子を持つ安心院を代表する左官の名棟梁で弟子の名前が刻まれた墓が今も龍王地区に残っています。

TEL.0978-34-4839 (宇佐市観光協会安心院支部)

〒 宇佐市安心院町下毛2074-1
☎ 9:00~17:00

MAP P1-B3

[スタンプ設置場所] 宇佐市観光協会安心院支部

龍岩寺三尊像(国指定重要文化財)

右から薬師如来坐像、阿弥陀如来坐像、不動明王坐像
他には例が少ない三尊の配列を成している。



絶景と文化にふれる 04

岩窟の仏堂から
俗世を見守る三尊像

龍岩寺



石段を上り、細い道を通って岩をくぐると、岩壁のくぼみに収まるように建てられた「奥の院礼堂」が見えてきます。間口3間、奥行2間の建物の中には、高さ3m、胴回り3.3mの仏像が3体。阿弥陀如来像、薬師如来像、不動明王像の三尊像は、それぞれ1本の樟材から造られた一木造りの仏像で、髪や衣など細部を簡略化し平面的に仕上げる特異な技法を用いています。奈良の高僧・行基が宇佐神宮を参拝した折り龍女に導かれて龍岩寺を開山、一夜にしてこの三尊像を造ったとか。龍岩寺は行基が建立した49の院の内の1つであることから「院内」の地名が付いたといういわれもあります。天平年間にはキリシタン大名・大友宗麟によって寺が焼き討ちにあったものの、奥の院礼堂と三尊は難を逃れ、現在は共に国の重要文化財に指定。また、床下に架かる丸太の階段は「きざはし」と呼ばれ、三尊像を彫った残りの木を使った、簡素な造りで、全国的に非常に珍しい様式のものです。





龍岩寺奥の院礼堂
(国指定重要文化財)
県内唯一の木造建造物・奥の院礼堂。
中央下から右にかかるのが「まきごはし」。



ガイドさんからの 「ちょっといい話」

龍岩寺では中秋の名月の2日前に観月会を開催しています。屋根の隙間からさす月の光に仏像が白く浮かび上がり、それはそれは幻想的です。定員がありますのでご予約はお早めに。

院内ふるさとガイド
永田正威さん
(ながたまさとし)

ガイド歴9年



あんな急な岩場に
どうやって
建てたのかな？

岩の中から
焼き討ちに
合わなかったの
かもね？



stamp

TEL.0978-42-6560

- 所 宇佐市院内町大門290-2
- 料 200円(奥の院拝観料)
- 台 10台

MAP P1-A3

[スタンプ設置場所] 奥の院参道入口受付前

悠久の歴史の中で育まれた 豊かな文化遺産を後世へ

神仏習合をいち早く取り入れた宇佐神宮を中心に、院内の石橋、安心院の鍔絵など、豊かな歴史文化を
発展させてきた宇佐市。県内4つの国宝のうち2つを有し、平和を願い戦争遺跡の保存に取り組むなど、
文化遺産を活用した魅力あるまちづくりを推進しています。

- 古墳時代**
 - 300年頃 ● 現在の「風土記の丘」に前方後円墳群が造られる。赤塚古墳、免ヶ平古墳など
 - 400年頃 ● 各地に方形集溝墓や円墳などが造られる。糸口遺跡や葛原古墳、高倉古墳など
 - 500～600年代 ● 各地に横穴墓群が造られる。四日市横穴群、水雲横穴古墳群など
- 縄文時代**
 - 縄文式土器を使った生活が行われる。中原遺跡・別府遺跡など
- 弥生時代**
 - 宇佐平野でこの頃から稲作が始まる。台ノ原遺跡（袋状貯蔵穴の炭化米）
- 飛鳥時代**
 - 684年 ● この頃から寺院が建立される。虚空蔵寺跡・法鏡寺廃寺跡など
- 奈良時代**
 - 717年 ● 清水寺開基
 - 720年 ● 八幡神が隼人を討ち、放生会が始まるという（異説あり）
 - 725年 ● 宇佐神宮 本殿第一殿造営
 - 725年 ● 八幡神を小山田社より小倉山にうつす（宇佐宮第一殿）
 - 733年 ● 宇佐宮第二殿を建て比咩神をまつる
 - 746年頃 ● 龍岩寺開基
 - 749年 ● 八幡神が東大寺大仏の造立に祭り託宣を下し、完成間近の大仏を拝する
- 平安時代**
 - 800年頃 ● 鷹栖観音堂開基（寺伝）
 - 823年 ● 宇佐宮第三殿（祭神・神功皇后）を造営する
 - 958年 ● 芝原善光寺開基
 - 1100年代初期 ● 龍岩寺三尊仏造立
 - 1123年頃 ● 宇佐宮の御田植祭が始まったといわれる
- 鎌倉時代**
 - 1209年 ● 石清水八幡宮別当田中祐清が孔雀文磐（国宝）を弥勒寺に奉納する
 - 1243年頃 ● 神子栄尊が円通寺を開山したという
 - 1250年 ● 芝原善光寺本堂再建
 - 1280年 ● 龍岩寺礼堂建立
 - 1311年 ● 大善寺薬師如来坐像造立
 - 1333年 ● 大楽寺開基
 - 1334年 ● 大楽寺が後醍醐天皇の勅願寺となる

室町時代

- 1350年頃 ● 光岡城築城
- 1358年 ● 懐良親王が宇佐神宮に御剣(国重文)を奉納する
- 1362年 ● 東光寺建立
- 1428年 ● 楯本磨崖仏造立
- 1430年 ● 極楽寺弥勒仏坐像造立
- 1562年 ● 東本願寺四日市別院建立

江戸時代

- 1600年代初期 ● 小坂不動尊不動明王造立
- 1600年代初期 ● 安楽院建立
- 1697年 ● 桜岡神社造営
- 1698年 ● 陣屋門造営
- 1744年 ● 真勝寺は東派別院となる。宇佐宮奉紙幣使が復活する
- 1746年 ● 正明寺西派別院となる
- 1746年 ● 西本願寺四日市別院建立
- 1800年代中期 ● 桂昌寺跡地獄極楽造立
- 1800年代中期 ● 土蔵や民家の壁に鍍絵が施される
- 1800年代中期 ● 石橋架橋される

明治

- 1868年 ● 佐田秀らが長州浪士など60人余と四日市陣屋を襲い、御許山にて長州藩兵に鎮圧される

大正

- 1923年 ● 耶馬溪(宇佐市の一部を含む)が国の名勝に指定される

昭和

- 1938年 ● 横網双葉山宇佐神宮で奉納土俵入り
- 1939年 ● 横網双葉山69連勝を記録
- 1939年 ● 宇佐海軍航空隊が開隊する
- 1943年 ● 掩体壕造りが始まる
- 1945年 ● 宇佐航空隊、沖縄方面へ特攻隊出撃(8次)を行う
- 1952年 ● オオサンショウウオが特別天然記念物に指定される
宇佐神宮本殿が国宝に指定される
- 1953年 ● 孔雀文磬が国宝に指定される
- 1976年 ● 文化財保護都市を宣言する
- 1981年 ● 県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館が開館する
- 1985年 ● 宇佐神宮の宝物館・参集殿が完成
- 1987年 ● およそ300百万年～400百万年前のミエ象の化石が発見される

平成

- 1998年 ● 県立宇佐風土記の丘歴史民俗資料館が増改築され、県立歴史博物館が開館
- 2010年 ● 文化財修復現場公開事業開始(宇佐神宮ほか)
- 2011年 ● 双葉山生誕100年記念事業開始
超六十連勝力士碑建立、横網白鷺宇佐神宮で奉納土俵入り

年代不明

福厳寺・閻魔履洞
福厳寺・馬頭像

百体社・化粧井戸 単人征伐の際にできたと言われる
南光寺仁王像 鎌倉期の造立と言われる
下市磨崖仏 室町時代の造立と言われる

文化
遺産
年表

古へと思いを馳せて

宇佐

日本固有の神の信仰に、外来の仏教を融合した「神仏習合」。

他の信仰を認めて共有し合うという特異な文化は、ここ宇佐市が発祥の地であり、いち早く取り入れた宇佐神宮は全国4万余社ある八幡社の総本宮として多くの参拝者が訪れています。

神仏にまつわる史跡の数々が、古へと誘う厳かな風を感じさせてくれます。

USA



宇佐神宮の元宮へ

御許山・大元神社

標高647mの御許山は別名「馬城峰」と呼ばれています。山頂には三つの巨石が磐座として祀られた溶岩円頂丘（溶岩ドーム）の神籬山で、慶応4年1月の「御許騒動」の舞台ともなりました。ちなみに、縁起飾りなどで知られる「万年青」はこの山に起源があるとされています。この御許山の9合目にあるのが「大元神社」。拝殿裏の鳥居より向こうは禁足地となっているため、入ることはできません。ちなみに、三つの巨石も禁足地内に鎮座しています。

所 宇佐市大字正覚寺

MAP P3-F4

表参道から西参道へ

勅使街道

宇佐神宮には天皇即位や国家異変の際に勅使(ちよくし=天皇の使い)が派遣されました。都から通じる官道を進んだ「宇佐使い」と称される一行は、宇佐川の岸边にあった宇佐駅で支度を整え、宇佐宮の正面玄関である呉橋(朱色の屋根付橋)へと向かいました。このことから、呉橋へ通じる道は勅使街道と呼ばれました。今も10年ごとに勅使が派遣されています。現在は新しく表参道が作られたため、勅使街道は「西参道」と呼ばれています。



所 宇佐市大字南宇佐

MAP P3-D3

走れ! クラウス号

宇佐参宮線26号蒸気機関車(クラウス号)

明治27年、博多-久留米間で使用されていたドイツ・ミュンヘン市クラウス社製の蒸気機関車は、引退後、宇佐参宮線(宇佐八幡-豊後高田市)で「26号機関車」として現役復帰しました。この路線が廃止されるまで、参宮線の主役として、宇佐神宮への参拝客の夢と希望を乗せ走り続けたのです。



所 宇佐市大字南宇佐

MAP P3-D3

120年の悲願

広瀬井手

駅館川東岸の地域は雨水に頼った農耕のため、農民は大変な思いで農業を行っていました。多くの人が水路工事に着手しては多くの難所で挫折。引き継いだ南一郎平は資金の工面に奔走、工事に心血を注ぎ、なんと水路は120年という長い年月を経て完成しました。



所 宇佐市大字長洲~宇佐市院内町広瀬

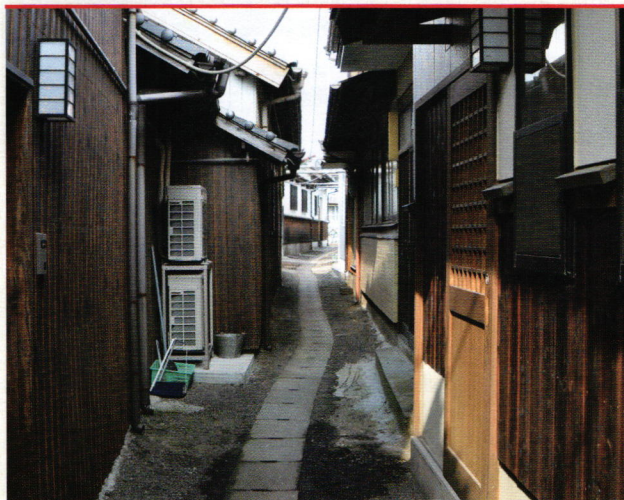
創建当初の大鬼瓦も

豊前 善光寺



日本三善光寺のひとつ、豊前善光寺（芝原善光寺）。梵天山法性院善光寺と称し、958年に空也上人によって創建されたと伝えられています。当初は天台宗でしたが、時宗に転宗して、現在は浄土宗に。本堂は和唐折衷の鎌倉時代建築様式を伝える建造物として国の重要文化財に指定されています。また創建時の鬼瓦が本堂内に保存されており、県の有形文化財に指定されています。境内は広大で森も深く、静寂の中に四季折々の美しさを見せています。

TEL.0978-32-7676 所 宇佐市大字下時枝 P あり MAP P2-B2



漁師町をめぐる歴史散策

長洲の町並み 浜の市



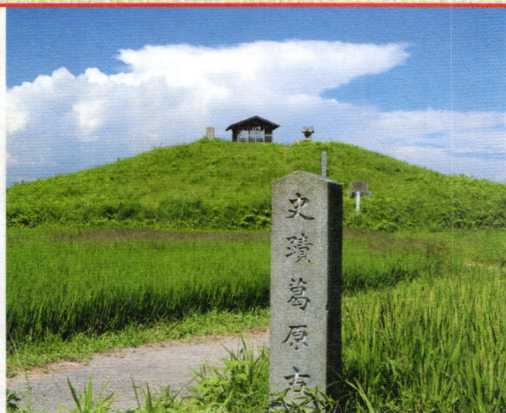
廻船業、商業、そして漁業も賑わいを見せていた長洲地区。宇佐神宮造営の折には材木の荷揚げも行われたと伝えられています。江戸時代には島原藩の飛び地として栄え、その影響からか乾麺づくりも脈々と受け継がれています。麦焼酎や清酒の酒蔵も点在しており、漁師町らしい「せど間」と呼ばれる狭い路地を歩きながら、街並み散策が楽しめます。また、この賑わいを思い起こさせる「浜の市」が長洲漁港にて毎月最終日曜日に開催されています。地元漁師が水揚げしたばかりの新鮮な魚介類、農産物などがずらり。

所 宇佐市大字長洲 MAP P3-D1

5世紀後半の指導者が眠る？

葛原古墳

宇佐市四日市の国道10号北側に広がる水田地帯にある「葛原古墳」。田んぼの真ん中にぽつんとあるこの古墳は、明治22年、桑畑にするため、古墳の上を開墾していた村人により発見されました。径53m、高さ約6mを測る大型の円墳で、竪穴系の石室内からは国産の鏡、勾玉、鉄剣、甲冑など多くの副葬品が出土しています。別名「鬼塚古墳」とも。また、埴輪片が採取されていることから、埴輪が整然と並んでいた様子が想像できます。



所 宇佐市大字葛原字鬼塚

MAP P2-C2

通称「百穴」、古代の人々が眠る墓地

四日市横穴墓群

「大乘院」から南に約200m、西の斜面に防空壕のような穴。これが「四日市横穴墓群」です。彩色された文様を描いたものもあり、有力者が祀られていることがうかがえます。約161基が南北に分かれた6世紀末から7世紀の古墳時代後期の共同墓地で古代に思いを馳せてみては？



所 宇佐市大字四日市字一鬼手・加賀山

MAP P2-C3

不気味な姿は何を物語る!?

十宝山大乗院 鬼のミイラ

宇佐市四日市「音の調べ通り」を南に歩くと、急な階段を携えた「大乘院」があります。ここに安置されているのが「鬼のミイラ」。座高は1.4m立てば2mを超える大きな鬼。不気味な姿ながら、現在では地域の方々に親しまれる存在となっています。



所 宇佐市大字四日市3761

時 9:00~16:00 Pあり

MAP P2-C3



景色も美しい奥の院

天福寺奥の院

四日市から県道44号・通称麻生道路を耶馬溪方面に車で5~6分走ると、右手の山の中腹にぽっかりと空いた穴が見えます。それが「天福時奥の院」です。奥の院は石窟になっており、70体余りの木彫りの仏像が納められています。昭和49年に発見された塑像3体は国の重要文化財に指定されました。足に自信のある人でも、片道20~30分かかります。駐車場に置かれている杖をぜひご持参ください。途中石段が壊れているところもあるので十分ご注意ください！



所 宇佐市大字黒 Pあり

MAP P2-B4

秘仏の御開帳をお見逃しなく

清水寺

旧三光村に抜ける清水トンネルへの登り口里山のふもとに静かにたたずむ清水寺。717年に仁聞菩薩が開基し、寺地の岩腹から清泉が湧き出していたことがその名の由来とされています。寺には仁聞作と言われる木造十一面千手観音立像をはじめ、古文書などがあり、1月10日、8月10日の千日会には観音堂を開帳します。この2日間のみ、秘仏の十一面千手観音立像を拝観できるので、お見逃しなく！九州西国三十三観音霊場第3番の札所でもあります。



所 宇佐市大字清水

MAP P2-A2



遠く本州までを望む中世の山城跡

光岡城跡

宇佐市長峰には、16世紀に赤尾氏が戦の際に立てこもったとされる光岡城跡が今もお史跡公園として残されています。光岡城跡は、高さ130mの山の上につくられた城跡で、その面積は南北140m、東西80mあり、発掘調査によると山の斜面を切り開いて平らな部分をつくり、見晴らしの良い北側に物見やぐらを含む6棟の建物が建てられていたとか。宇佐平野を望む景色も美しく、天気の良い日には本州・山口付近も望めます。

所 宇佐市大字赤尾 Pあり

MAP P2-A3

時代を刻む板碑や石碑

妙楽寺

寺伝によると806年に開基し、その後、天台宗の僧侶・頼巖によって再興された妙楽寺。境内には頼巖供養のために建てられた板碑が、また寺周辺からも石柱塔婆や瓦製経筒が発見され、いずれも県指定有形文化財に指定されています。



所 宇佐市大字木内236

MAP P2-B4

登り口には名の刻まれた鳥居も

仙岩山の景

国指定名勝・耶馬溪の一部である麻生耶馬で知られる「仙岩山」。かつては修験場であったと伝えられ、岩陰の宝陀寺奥の院には観音様が安置されています。登り口には「仙岩山」の名が刻まれた鳥居が立っています。



所 宇佐市大字麻生

MAP P1-A3

法隆寺と密接な関係？

虚空蔵寺跡・瓦窯跡群

宇佐別府道路宇佐インターにほど近い山本の和田酒店西側に虚空蔵寺跡はあります。白鳳時代創建の寺院跡で七堂伽藍を有したといわれており、堂塔の配置が法隆寺西院伽藍と同じ形式で、虚空蔵寺を1.25倍にすると法隆寺と重なる、軒先瓦の文様が同じなど、畿内との密接な関わりを示しています。また、7世紀末から8世紀後半にかけての窯跡も見つかり、法隆寺系文様の瓦を生産する窯としては九州で初の発見となりました。



附 宇佐市大字山本

MAP P2-C3



大師信仰の隆盛を今に伝える景勝地

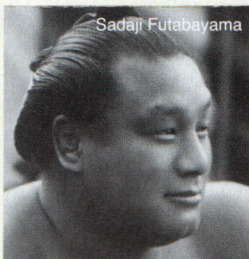
高野堂の景

県道円座中津線沿いに位置する風光明媚な景勝地。伊呂波川に架かる古い石橋を渡ると素朴な顔の仁王様が出迎えてくれます。仁王様の間を通り抜け、石段を登った先にある小さな御堂が「高野堂」。名前からもわかる通り、弘法大師信仰ゆかりの御堂です。当時は8～12kmも離れた村々からも人々が参詣し、猪ノ鹿倉に菓子屋37軒、東川ノ内フタギノ川原に13軒店が出て、菓子や酒を売る繁盛ぶりであったと言われています。

所 宇佐市大字麻生

MAP P1-A2

宇佐の先哲 わがまちが生んだ偉人

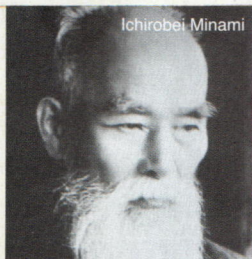


Sadaji Futabayama

双葉山
定次

1912～1968年

前人未到の69連勝を成し遂げた昭和の大横綱。引退後は相撲協会理事長としても功績を残しました。



Ichirobei Minami

南
一
郎
平

1836～1919年

全財産を投じて、広瀬井手を完成させた。「日本三大疎水の父」と呼ばれています。

横光 利一 Riichi Yokomitsu

1898～1947年

「文学の神様」と呼ばれた新感覚派の作家。大正・昭和の文壇で活躍しました。

麻生 豊 Yutaka Aso

1898～1961年

四コマ漫画の創始者で「ノンキナトウサン」で脚光を浴びた漫画家です。

清瀬 保二 Yasuji Kiyose

1900年～1981年

幅広い音楽の作曲活動をし、日本の現代音楽を世界に紹介した「民族派の音詩人」と呼ばれました。

今と昔に見る、おもてなしの極意

安心院

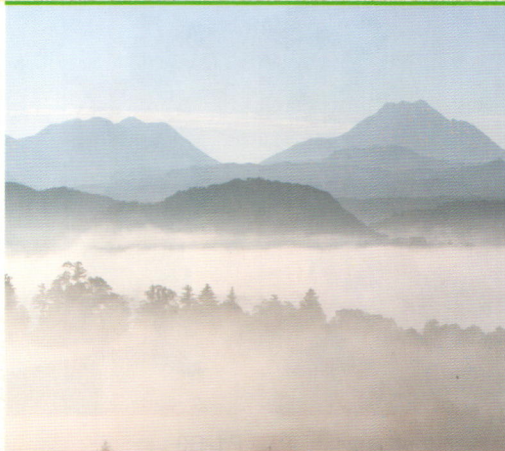
農家が提供する豊かな自然とあたたかいおもてなし、そしてそれを求めてリフレッシュに訪れる都市の人々。

安心院がいち早く取り組んできたグリーンツーリズムは、

守り続けて来た自然と生活を支えてきた農業への誇りから生まれたもの。

かつて左官さんが家を建てたお祝いに饗絵を贈ったように、心をこめた思いにこそ、おもてなしの真髄があります。

AJIMU



水墨画に紛れ込んだような世界

安心院の朝霧

深い霧に包まれた安心院盆地の朝はまさに水墨画の世界。松本清張の小説の一節にも登場する荘厳な風景は、かつて安心院を訪れた作家・司馬遼太郎から「日本一の盆地風景」と絶賛されました。この深い霧や、朝夕の寒暖差など、盆地ならではの気候が、質の高いブドウを育み、芳醇なワインを醸します。

宇佐市安心院町

境内には様々な奇石も

三女神社

深見川に沿う高台にあり、由布・鶴見と竜王山を一望する三女神社。田心姫（たごりひめ）・瑞津姫（たぎつひめ）・市杵島姫（いちきしひめ）の三女神が御許山から亀山、三角池、妻垣山、宮之原などを巡幸し、この地に祀られています。いわゆる宗像三女神で、海や航海に関わる神として信仰されていたといわれています。一帯から発掘された石棺が墳墓や祭祀の聖地だったことを物語っています。

宇佐市安心院町下毛

MAP P1-B3



お粥を供えれば乳が出る？

下市磨崖仏

三女神社参道入り口の岩肌に、薄肉彫り、もしくは半肉彫りの尊像が計11軀あります。室町期の磨崖仏と考えられていますが、南東壁の4軀の阿弥陀像は彫りが深く、並びが平安後期以来の阿弥陀浄土への信仰を表しています。乳を求め祈願すると必ず乳を授かる、と伝えられ、別名乳不動とも呼ばれています。



宇佐市安心院町下毛

MAP P1-B3

仏の世界を表現した曼荼羅

檜本磨崖仏

室町時代の磨崖仏の特色「かまぼこ型・半肉彫り」を代表する史跡と言われています。縦約4.5m 幅約40mの2段の岩に彫られており昭和32年に県指定史跡に指定されました。不動三尊、薬師三尊のほか十二神将や仁王、地藏菩薩など、仏の世界を表現した曼荼羅となっています。



宇佐市安心院町檜本

MAP P1-C3

迫力満点！阿吽の仁王像

南光寺仁王像

かつて安心院盆地には四光寺と呼ばれる4つのお寺がありましたが、現存するのは東光寺と、この南光寺のみ。南光寺山門に立つ木造の阿吽の仁王（金剛力士）像は迫力満点。クスの木の寄木造りで高さ2m27cm、胸囲1m73cm、筋肉隆々として男性美に満ちた力強い風貌は、鎌倉期の特色を表しています。移転前の寺跡からは鎌倉時代の古瓦が多く発見されているため、創建も鎌倉をくぐらないのではとされています。県内でも2番目に古い木造の仁王像です。



所 宇佐市安心院町松本

MAP P1-B3

塔の四方に五輪塔四門の梵字

最明寺五輪塔

安心院盆地の中央に広がる水田の中にあつた古びた五輪塔3基。現在は、最明寺境内に移転され、そのうちの1つは県指定有形文化財に指定されています。五輪塔は下から四角・円・三角・半円・如意宝珠形の五輪を積み上げ、地・水・火・風・空の五大を表しています。北条時頼にまつわるお寺でもあります。



所 宇佐市安心院町下毛

MAP P1-B3

無名時代の松本清張も訪れた

妻垣神社

神武天皇が東征の折りに宇佐に立ち寄られ、食事を饗す場所として菟狭津彦（うさつひこ）と菟狭津媛（うさつひめ）が「足一騰宮（あしひとつあがりのみや）」を造らせたと伝えられています。宇佐神宮とゆかりの深い八箇社の一つでもあります。



所 宇佐市安心院町妻垣

MAP P1-B3

山腹に眠る幸隆公の霊

細川幸隆廟所

かつて竜王山にあつた龍王城は、豊前国小倉藩初代藩主細川忠興の弟・細川幸隆が城主を務めた城。幸隆の死後、その霊を祀った廟が妙菴寺の境内に残されています。平成20年、白山神社遺跡、法蓮法器塚と共に、初の宇佐市登録史跡に指定されました。



所 宇佐市安心院町龍王字古城

MAP P1-B3

宇佐の先哲 わがまちが生んだ偉人



1816～1894年

江戸末期から明治にかけて日本の本草学を大成させ、近代植物学の基礎を築いた人物です。

1796～1880年

幕末期、高熱溶鋳に必要な反射炉や耐火レンガを考案、製造し、優れた大砲を鋳造しました。

「名勝耶馬溪」のひとつ

仙の岩

中津市の競秀峰と並んで称される「仙の岩」。100mの大絶壁平岩や大中小の屏風岩や大巖寺（だいがんじ）岩窟・奥の仙岩窟などがあり、昔から山岳仏教の聖域となっています。大昔、インド僧法道仙人がいたので「仙の岩」と呼ぶようになったと言われています。仙の岩は頂上まで登ることができ、頂上からは由布岳、鶴見岳を正面に見ることができます。周囲は公園整備がされており、春には桜を楽しむこともできます。



所 宇佐市安心院町鳥越

MAP P1-B3



世界遺産の五重塔がモデル

深見五重塔

安心院町出身の糸永貞樹氏が故郷への感謝の念を込めて昭和48年に建立したものです。かつては大変栄えていたが、現在では廃寺となった「大建寺」の跡地にふさわしい仏塔を建立して、我が国の古き良き伝統を残したい、という思いから造られました。美しさで定評のある京都の国宝・醍醐寺の五重塔をモデルにしています。九州では珍しい木造の五重塔です。

TEL.0978-44-4530

所 宇佐市安心院町鳥越 P あり

MAP P1-B3

安心院唯一の3連アーチ橋

今井橋

安心院町の石橋としては唯一の指定文化財である今井橋。今井の酒造業佐藤専次郎氏が計画し、町内下市の業者が請け負っていたようですが、誰が作ったのか、石工名は不明のまま。河川改修のため、撤去の予定でしたが、住民の要望により、保存、活用がされています。



所 宇佐市安心院町大

MAP P1-B3

樹齢1000年越えの古木

山蔵のイチイガシ

「イチイガシ」は、宇佐市の市木でもあり、市内の多くの神社境内にあり、鎮守の杜を形成しています。昭和30年に県指定天然記念物となった「山蔵のイチイガシ」は、根周り12.1m、高さは24mに及び、日本有数の大きさを誇ります。樹齢も1000年を超えた、生命力あふれるイチイガシです。



所 宇佐市安心院町山蔵

MAP P1-C2

佐田地区の総鎮守

佐田神社

元治元年の再建で、当時の豪商、山路屋・小倉屋などが中心となり建立されました。本殿には長さ3mにおよぶ龍の彫刻などいたるところに優れた彫刻が施され、観るものを圧倒します。境内には板碑が4基あり、そのうち2基が県指定有形文化財となっています。板碑は梵字を葉研彫りし、時宗教徒による造立の銘が刻まれています。境内の北側には島原藩主の命を受けて大砲铸造を企画、民間で初めて完成させた反射炉碑が立っています。

所 宇佐市安心院町佐田

MAP P1-C3



虹の架かる滝を見に行こう

福貴野の滝

「雄滝」と「雌滝」からなる「福貴野の滝」。高さ65mの滝を裏から見る事ができるので、別名「裏見の滝」と言われています。また、「龍泉寺の滝」とも呼ばれ、龍泉寺の裏の滝見台から見下ろす景観は多くの文人墨客の心をとらえ、好んで作品の題材としたと言われています。6～7月の朝7～8時頃の天気の良い日のみ滝に虹が架かるのも幻想的。



所 宇佐市安心院町福貴野 Pあり

MAP P1-B4

古代日本のストーンサークル？

佐田京石・米神山

米神山は、高さ475mの形の良い山で途中に「月の谷」「陽の谷」と呼ばれる環状列石があります。古代人が神々を祀ったとされる祭祀場があり、道々の巨石が入山者を迎えてくれます。また、米神山の西南に「佐田京石」と呼ばれる、柱状の巨石が9本並んでいます。米神山の中腹にある自然の石柱群と相対し、太古祭祀の遺跡ではあるまいかと推定され、佐田京石は祭祀遺産なのか、鳥居の原型なのか、仏教の経石なのか、様々な説があります。

所 宇佐市安心院町熊(米神山) Pあり
宇佐市安心院町佐田(佐田京石)

MAP P1-C2

時を越えてつなぐのは、人と時間と…

院内

混乱の時代にも、静かに人と人をつないできた石橋の数々。

今もなお人々の生活を守り、支えるシンボルは、腕を誇った石工たちの意地とプライドをかけた作品群。

自然を取り込んだ美しいフォルムもさることながら、災害にも耐えてきたその強靱な造りが、
過去から未来へと続く架け橋となって時を刻みます。

INNAI

一枚岩を流れる清流

岳切溪谷



自然豊かな溪谷は、一枚岩の岩盤を流れる清流が約2kmにわたって続き、素足で沢歩きが楽しめます。初夏は新緑を、夏には涼を求める人やキャンプを楽しむ多くの人で賑わい、隠れた穴場として脚光を浴びています。キャンプ場・川開き当日は、シーズン中の安全祈願(神事)を行いその後、十ヶ平神楽社による勇壮な神楽の舞やもちまき、イノシシ汁の無料配布、ソーメン流し等のイベントが開催されます。※施設：テント、バンガロー等があります。

所 宇佐市内町定別当

MAP P1-A3



奇岩が作り出す名山

鹿嵐山・地蔵峠の景・
シャクナゲ群生地

大分県北西部の奇岩・奇峰で知られる耶馬溪の一角にあり、雄岳(758m)と雌岳(730m)からなる九州百名山の一つです。院内・安心院からは鋭く、玖珠からはなだらかな双子峰と、様々な山体を見せてくれます。途中の「地蔵峠の景」は万里の長城を思わせる、素晴らしい景観です。足下は30m以上の崖となっているので、気合を入れてチャレンジを。シャクナゲの群生地でもあり、毎年4月29日にはシャクナゲ深勝登山会が行われています。



所 宇佐市内町小野川内

MAP P1-A3



マチュピチュと大銀杏

西椎屋の景と西椎屋大銀杏

国道387号線から望む西椎屋地区の棚田の景観が「空中都市」とも呼ばれている世界遺産の南米ペルーのマチュピチュにそっくりなことから「宇佐のマチュピチュ」と呼ばれるようになり、話題を呼んでいます。また、この西椎屋地区の中では樹齢1300年と伝えられる県下最大の銀杏があります。現在は市指定天然記念物に指定されています。秋にはとても美しい色に染まり地元では、乳の出ない人がこの気根に触ると、出るようになるとの謂われがあります。



所 宇佐市院内町西椎屋 MAP P1-A4

龍神伝説が残る名瀑

西椎屋の滝

玖珠町との境界付近に位置する名瀑で、日本の滝百選に選定。豊かな水が落差86mの断崖を一気に落下する様は豪快で、東椎屋の滝、福貴野の滝とともに「宇佐の三滝」と言われています。この滝つぼに住む大蛇を鎮めるため、社を建て、龍神として祀ったと言われています。

所 宇佐市院内町西椎屋
玖珠町日出生

MAP P1-A4



岩の間をぬって落ちる美しい滝

余の滝

駅館川上流の恵良川支流余川にかかる滝。落差48mの本滝の下方に小滝が広がり、通常は水量も少なく、水が岩と岩の間をぬって落ちています。別名「末広の滝」とも呼ばれています。近くには「日本の棚田100選」に選ばれた両合棚田もあり、散策するには絶好のコース。三滝に劣らない人気の滝です。

所 宇佐市院内町上余

MAP P1-B3



生きた化石に会いに行こう！

オオサンショウウオ

日本固有・世界最大の両生類で国の特別天然記念物にも指定されています。九州で唯一の生息地・および南限地であるのが宇佐市余川。「道の駅いんない」で、院内町の水路で保護された体長1mを超えるオオサンショウウオを文化庁の許可を得て一般公開しています。



所 宇佐市院内町余地区

MAP P1-A4

マナーを守って見学を

逸見邸庭園

ご主人の逸見克彦さんが自らの手で40年の年月をかけて、愛情をこめて丁寧に作りあげたものです。四季折々に変わる美しい景色を楽しもうと多くの観光客が。逸見邸は個人宅なのでマナーを守って見学を。



所 宇佐市院内町栗山85

MAP P1-B4

懐かしい日本の原風景

両合棚田・両合川橋

両合棚田は、約120枚の棚田で構成されており、日本の棚田百選に選定されました。宇佐市院内町の余谷の東南部に滝貞と小平の集落があり、両集落の間を余川の支流・滝貞川が流れ、その両側の急斜面に棚田が広がっています。昔ながらの掛け干しによる稲作を続けており、地域一帯で景観を守っています。棚田を流れる川には、石橋の両合川橋が架かり、懐かしい日本の風景を思い出させます。

所 宇佐市院内町小平・滝貞 MAP P1-B4



信仰深い不動明王

おさかふどう
小坂不動

山号は明王山で、眼下に小坂の集落と津房川を見下ろす小高い丘陵の中腹の岩窟の中に建てられています。この堂に像高480cmの大きな塑像の不動明王があり、伝承によると鎌倉時代の仁聞菩薩の作と伝えられています。



所 宇佐市院内町小坂 MAP P1-B2

6世紀後半の古墳群

すのり
水雲横穴古墳群

原口地区の恵良川右岸崖面にほぼ南北に1列に並びぶ形で造営されており、50基近い横穴が確認できます。横穴は直接崖面に面しており、これらの横穴のうち、4基にベンガラの赤色で描かれた装飾があります。玄室の形態から6世紀後半の物とみられています。平成の森公園や道の駅の近くにあります。



所 宇佐市院内町原口 MAP P1-B3

宇佐の先哲

わがまちが
生んだ偉人

Kenjiro Ohi

大井 憲太郎

1843～1922年
明治期の自由民権運動家。衆議院議員でもありました。



Shinnosuke Matsuda

松田 新之助

1867～1947年
鳥居橋や荒瀬橋など宇佐市を代表する石造アーチ橋を10基以上架けた石橋づくりの名工。

宇佐市 文化財一覽

名称	住所	指定年月日	所有/管理
----	----	-------	-------

国 宝

01	宇佐神宮本殿	大字南宇佐	昭和27年11月22日	宇佐神宮
02	孔雀文馨	大字南宇佐	昭和28年3月31日	個人

重要文化財

01	木造阿弥陀如来坐像	院内町大門	昭和25年8月29日	龍岩寺
02	木造不動明王坐像	院内町大門	昭和25年8月29日	龍岩寺
03	木造薬師如来坐像	院内町大門	昭和25年8月29日	龍岩寺
04	龍岩寺奥の院礼堂	院内町大門	昭和25年8月29日	龍岩寺
05	銅鐘	大字南宇佐	昭和25年8月29日	宇佐神宮
06	木造神像 大鷲壽命坐像、大葉枝皇子坐像、小葉枝皇子坐像、 鹿鳥皇女坐像、車総別皇子坐像	大字南宇佐	昭和25年8月29日	宇佐神宮
07	白鞘入剣	大字南宇佐	昭和25年8月29日	宇佐神宮
08	善光寺本堂	大字下時枝	昭和25年8月29日	善光寺
09	宇佐宮神額大鏡	大字南宇佐	昭和45年5月25日	宇佐神宮
10	塑像三尊仏像残欠(3)	県立歴史博物館(寄託)	昭和50年6月12日	天福寺
11	木造弥勒仏及両脇侍像	大字南宇佐	昭和25年8月29日、 平成元年6月12日追加	大楽寺
12	木造薬師如来坐像(弥勒寺金堂日本尊)	大字南宇佐	平成元年6月12日	大善寺
13	宇佐神宮造営図	大字南宇佐	平成2年6月29日	宇佐神宮
14	木造四天王立像	大字南宇佐	平成5年1月20日	大楽寺
15	綾本著色法華経絵(旧宇佐神宮神輿障子絵)四曲屏風 附綾本著色法華経絵(同 応永本)二曲屏風	県立歴史博物館	昭和54年6月6日	大分県

史 跡

01	葛原古墳	大字葛原	昭和32年11月28日	葛原地区
02	四日市横穴群	大字四日市	昭和32年11月28日	宇佐市
03	法鏡寺廃寺跡	大字法鏡寺	昭和53年3月14日	宇佐市・個人
04	川部・高森古墳群	(車坂古墳分)大字川部宇車坂・地藏堂 (鶴見古墳分)大字川部宇鶴見 (免ヶ平古墳分)大字川部宇寺ノ内・免ヶ平 (福勝寺古墳分)大字川部宇福勝寺 (角塚古墳群分)大字高森宇角塚 (赤塚古墳分)大字高森宇京塚	昭和55年3月24日	大分県
05	宇佐神宮境内	大字南宇佐、正覚寺、日足	昭和61年2月25日	宇佐神宮、農林水産省他

特別天然記念物

01	オオサンショウウオ	駅館川水系	昭和27年3月29日	宇佐市
----	-----------	-------	------------	-----

天然記念物

01	オオサンショウウオ生息地	院内町旧南院内村全域	昭和2年4月8日	宇佐市
02	宇佐神宮社叢	大字南宇佐	昭和52年4月12日	宇佐神宮

名 勝

01	高野堂の景	大字麻生字井ノ加倉	大正12年3月7日、 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)
02	仙岩山の景	大字麻生字仙岩山	大正12年3月7日、 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)
03	龍泉寺の滝の景	安心院町山ノ口宇須山坂道ノ下安心院町福貴野字長葉山、 龍泉寺の滝落ち口より下流 300m間の河川敷	大正12年3月7日、 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)
04	耶馬溪 仙ノ岩の景	安心院町真越字櫻木淵(現在は宮添)、臥牛山(現在は切敷)、仙の岩	大正12年3月7日、 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)
05	東椎屋の滝の景	安心院町大字東椎屋宇西野、 堤ノ木、東椎屋の滝落ち口より下流 500mの間の河川敷	大正12年3月7日、 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)
06	西椎屋の滝の景	院内町和田字ツド、メシタキ、カマブタ、院内町東嶽宇外野宇、二水、平原、休場、神田、 院内町西椎屋宇オウ、松ノ尾、井手ノ口、西椎屋の滝落ち口より下流 100m間の河川敷	大正12年3月7日、 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)

名称	住所	指定年月日	所有/管理
07 耶馬溪 地藏峠の景	院内町小野川内字鹿嵐	大正12年3月7日 昭和11年7月14日追加	大分県(管理団体)

国登録有形文化財

01	両合川橋	院内町滝貞・小平	平成10年1月16日	宇佐市
02	橋詰水路橋	院内町小稲	平成10年1月16日	宇佐市
03	鷹岩橋	院内町斉藤	平成13年11月20日	宇佐市
04	中島橋	院内町斉藤	平成13年11月20日	宇佐市
05	水雲橋	院内町原口	平成13年11月20日	宇佐市
06	念仏橋	院内町温見	平成13年11月20日	宇佐市
07	櫛野橋	院内町櫛野・香下	平成13年11月20日	宇佐市
08	真宗大谷派四日市別院本堂一棟	宇佐市大字四日市字寺町1425-1	平成21年8月25日	真宗大谷派四日市別院
09	真宗大谷派四日市別院経蔵一棟	宇佐市大字四日市字寺町1425-1	平成21年8月25日	真宗大谷派四日市別院
10	真宗大谷派四日市別院太鼓楼一棟	宇佐市大字四日市字寺町1425-1	平成21年8月25日	真宗大谷派四日市別院
11	真宗大谷派四日市別院土堀及び石垣一基	宇佐市大字四日市字寺町1425-1	平成21年8月25日	真宗大谷派四日市別院
12	真宗大谷派四日市別院石橋及び水路石垣一基	宇佐市大字四日市字寺町1425-1	平成21年8月25日	真宗大谷派四日市別院

県指定文化財

有形文化財

01	木造十二神将	院内町大門	昭和49年3月19日	龍岩寺
02	蓮華寺跡五輪塔	院内町小坂	昭和51年3月30日	個人
03	滝貞石幢	院内町滝貞	昭和55年4月8日	滝貞地区
04	覚正寺支坊石幢	院内町副	昭和57年3月30日	覚正寺
05	銅造厨子入菩薩形立像	院内町土岩屋	平成4年3月27日	個人
06	鳥居橋	院内町香下・新洞	平成4年3月27日	宇佐市
07	御沓橋	院内町御沓・二日市	平成10年3月20日	宇佐市
08	佐田社板碑(2)	安心院町佐田	昭和34年3月20日	佐田神社
09	大年社板碑(2)	安心院町山蔵	昭和47年3月21日	大年社
10	石造五輪塔	安心院町下毛	昭和33年3月25日	最明寺
11	木造金剛力士立像(2)	安心院町松本	昭和32年3月26日	松本地区
12	善光寺板碑	大字下時枝	昭和35年3月22日	善光寺
13	梵鐘	大字南宇佐	昭和35年3月22日	大案寺
14	到津文書	大字南宇佐	昭和35年3月22日	個人
15	小山田文書	県立歴史博物館(寄託)	昭和35年3月22日	個人
16	永弘文書	大字南宇佐	昭和35年3月22日	個人
17	八幡宇佐宮御託宣集	大字南宇佐	昭和35年3月22日	宇佐神宮
18	北辰神社	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
19	高倉	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
20	西大門	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
21	南中樓門	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
22	呉橋	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
23	神輿附褌二枚	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
24	宇佐宮古図	大字南宇佐	昭和43年3月29日	宇佐神宮
25	木造阿弥陀如来坐像	大字法鏡寺	昭和44年3月22日	任聖寺
26	五鈷杵	大字南宇佐	昭和44年3月22日	大案寺
27	絹本着色仏涅槃図	大字南宇佐	昭和44年3月22日	大案寺
28	八幡鳥居	大字南宇佐	昭和44年3月22日	宇佐神宮
29	法鏡寺古瓦(2)	大字法鏡寺	昭和46年3月23日	個人
30	弥勒寺古瓦	大字南宇佐	昭和46年3月23日	宇佐神宮
31	芝原善光寺鬼瓦	大字下時枝	昭和46年3月23日	善光寺
32	石戈	大字芝原	昭和46年3月23日	個人
33	天福寺奥院仏像群(40)	大字黒	昭和50年3月28日	天福寺

名称	住所	指定年月日	所有/管理
34 妙案寺板碑	大字木内	昭和53年3月31日	妙案寺
35 成恒文書 附 家因二卷	県立歴史博物館 (寄託)	昭和49年3月19日	個人
36 太刀(豊後国行平)	県立歴史博物館	昭和51年3月30日	大分県
37 瑞雲寺遺跡出土遺物	県立歴史博物館 (寄託)	昭和57年3月30日	個人
38 成田家短刀	県立歴史博物館	平成5年3月23日	大分県
39 金丸宝篋印塔	大字金丸	昭和53年3月31日	金丸平地区
40 稲積山石柱塔婆	県立歴史博物館 (寄託)	昭和53年3月31日	個人
41 妙案寺木造阿弥陀如来坐像附木造仏(6)	大字木内	昭和53年3月31日	妙案寺
42 五所家刀	大字葛原	昭和54年5月15日	個人
43 光明寺木造聖観音立像	大字松崎	昭和55年4月8日	光明寺
44 五所家刀(銘信国源吉定)	大字葛原	昭和55年4月8日	個人
45 太刀(豊後国行平作)	県立歴史博物館	昭和56年3月31日	大分県
46 とくしん橋	大字山本	昭和57年3月30日	宇佐市
47 善光寺銅造阿弥陀如来立像	大字下時枝	昭和59年3月30日	善光寺
48 宇佐神宮太刀(弘包作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
49 宇佐神宮太刀(信国作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
50 永弘家刀(輝行作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	個人
51 宇佐神宮刀(国宗作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
52 宇佐神宮刀(種子銘)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
53 宇佐神宮刀(正房作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
54 宇佐神宮刀(無銘)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
55 宇佐神宮脇差(延寿国秀・国俊作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
56 宇佐神宮短刀(吉光作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
57 宇佐神宮剣(宣貞作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
58 宇佐神宮短剣(宣貞作)	大字南宇佐	昭和59年3月30日	宇佐神宮
59 光明寺板碑(2)	大字佐野	昭和62年3月27日	光明寺
60 御許山町石(1)	大字南宇佐	昭和63年3月15日	宇佐神宮
61 木造舞楽面	大字南宇佐	平成6年3月25日	宇佐神宮
62 敢語及び梅園詩集版本(25)	県立歴史博物館	昭和49年3月19日	大分県
63 岬古墳出土遺物	県立歴史博物館	昭和58年4月12日	大分県
64 森貝塚出土遺物	県立歴史博物館	昭和58年4月12日	大分県
65 東貝塚出土遺物	県立歴史博物館	昭和58年4月12日	大分県
66 木造弥勒仏坐像	大字南宇佐	平成8年3月29日	極楽寺
67 余瀨文書	県立歴史博物館	昭和47年3月21日	大分県
68 四日市別院(東本願寺)山門	大字四日市	平成17年3月29日	四日市別院(東本願寺)
69 宇佐参宮線 26号蒸気機関車	大字南宇佐	平成17年3月29日	宇佐市
70 妙案寺経塚出土遺物	大字南宇佐	平成20年3月28日	宇佐市
71 宇佐神宮所蔵絵図等 12点	大字南宇佐	平成25年3月15日	宇佐神宮

史跡

01 楢本磨崖仏	安心院町楢本	昭和32年3月26日	宇佐市
02 下市磨崖仏	安心院町下毛	昭和56年3月31日	下毛地区
03 虚空蔵寺塔跡	大字山本	昭和32年3月26日	宇佐市
04 凶首塚古墳	大字北宇佐	昭和46年3月23日	宇佐神宮
04 蛭子ヶ原古墳	大字別府	昭和46年3月23日	個人
06 高倉古墳	大字長洲	昭和46年3月23日	宇佐市
07 久々姥古墳(2)	大字猿渡	昭和46年3月26日	個人・宇佐市
08 貴船平・下の裏山横穴群	大字山下、上元重	昭和46年3月26日	個人
09 京徳遺跡	大字下敷田	昭和49年3月19日	宇佐市
10 古稻荷古墳	大字法鏡寺	昭和50年3月28日	宇佐市

名 称	住 所	指定年月日	所有 / 管理
11 上原遺跡	大字法鏡寺	昭和56年3月31日	宇佐市
12 樋尻道遺跡	大字上田	昭和56年3月31日	宇佐市
13 野口遺跡	大字上田	昭和56年3月31日	宇佐市
14 光岡城跡	大字赤尾	昭和58年4月12日	宇佐市
15 虚空蔵寺一号瓦窯跡	大字山本	平成5年3月23日	西日本高速道路(株)
16 切寄瓦窯跡	大字山本	平成7年3月10日	国土交通省
17 妙楽寺経塚	大字木内	平成20年3月28日	妙楽寺

無形文化財

01 宇佐神宮御神能	大字南宇佐	昭和50年3月28日	宇佐神能会
------------	-------	------------	-------

有形民俗文化財

01 宇佐神宮能衣裳類	大字南宇佐	昭和50年3月28日	宇佐神宮
02 杵築高等学校郷土研究部民俗資料コレクション	県立歴史博物館	昭和45年3月31日	大分県

無形民俗文化財(指定)

01 ゆたて神楽	院内町日岳	昭和41年3月22日	日岳神楽保存会
02 十ヶ平神楽	院内町西椎屋	平成18年3月31日	十ヶ平神楽社

無形民俗文化財(選択)

01 宇佐神宮の御田植祭	大字南宇佐	昭和46年3月23日	宇佐神宮
02 宇佐神宮の放生会	大字南宇佐	昭和48年3月20日	宇佐神宮
03 宇佐神宮鎮疫祭	大字南宇佐	昭和50年3月28日	宇佐神宮

天然記念物

01 鹿嵐山のツクシヤクナゲ群落	院内町小野川内	昭和35年3月22日	農林水産省
02 山蔵のイチイガシ	安心院町山蔵	昭和30年5月27日	山蔵地区
03 畳石のオトメクジャク	安心院町畳石	昭和51年3月30日	個人

有形文化財

01 且尾板碑	安心院町且尾	昭和49年2月8日	個人
02 荘板碑	安心院町荘	昭和49年2月8日	個人
03 尾立板碑	安心院町尾立	昭和57年4月28日	個人
04 西原寺跡宝塔	安心院町山蔵	昭和57年4月28日	個人
05 佐田神社両部鳥居	安心院町佐田	昭和57年4月28日	佐田神社
06 若宮社楼門	安心院町楯本	昭和57年4月28日	若宮社
07 岩男是命作「シェパード」	安心院町房ヶ畑	昭和57年4月28日	個人
08 普賢延命菩薩坐像	安心院町妻垣	昭和50年10月17日	神徳寺
09 金子自仏作品	安心院町松本	昭和57年4月28日	個人
10 大砲模型	県立先哲史料館(寄託)	昭和57年4月28日	個人
11 光勝寺手洗鉢	安心院町鳥越	昭和57年4月28日	個人
12 帆足万里詩幅	日出町万里図書	昭和57年4月28日	個人
13 賀来飛霞・採葉記	県立歴史博物館(寄託)	昭和49年2月8日	個人
14 賀来飛霞・図譜	県立歴史博物館(寄託)	昭和49年2月8日	個人
15 矢野文書	県立先哲史料館(寄託)	昭和57年4月28日	個人
16 山上文書	安心院町上市	昭和57年4月28日	個人
17 佐田文書	安心院町佐田	昭和57年4月28日	個人
18 飯田文書	安心院町矢崎	昭和57年4月28日	個人
19 近藤文書	安心院町下毛	昭和57年4月28日	個人
20 若林文書	安心院町若林	平成11年3月28日	個人

名称	住所	指定年月日	所有/管理
21 八幡宇佐宮御託宣集	安心院町平ヶ倉	昭和49年2月8日	個人
22 大巖寺千手観音立像	安心院町鳥越	昭和50年10月17日	大巖寺
23 妙菴寺明岩鏡照像	安心院町龍王	平成6年5月13日	妙菴寺
24 金竜寺地藏菩薩像	安心院町楳本	平成6年5月13日	金竜寺
25 金竜寺聖観音菩薩像	安心院町楳本	平成6年5月13日	金竜寺
26 小嶋家文書	安心院町矢畑	平成6年5月13日	個人
27 多仏石幢	安心院町釜ノ口	平成7年7月5日	個人
28 助太之墓附宝篋印塔	安心院町西衾	平成7年7月5日	個人
29 今井橋	安心院町今井	平成3年8月1日	宇佐市
30 古荘家住宅	安心院町龍王	平成17年3月23日	宇佐市
31 佐田秀長歌	安心院町内川野	平成17年3月23日	個人
32 木造阿弥陀如来立像	院内町下余	昭和50年5月23日	宝蓮寺
33 塑像不動明王坐像	院内町小坂	昭和50年5月23日	小坂地区
34 略縁起木版	院内町大門	昭和50年5月23日	龍岩寺
35 きざはし	院内町大門	昭和50年5月23日	龍岩寺
36 副氏石造宝塔(2基)	院内町副	昭和53年3月31日	宇佐市
37 石造線彫不動明王立像	院内町小坂	昭和55年6月2日	小坂地区
38 木造釈迦三尊坐像	院内町土岩屋	昭和55年6月2日	土岩屋地区
39 岩本家石造宝塔	院内町小稲	昭和57年3月19日	個人
40 近藤家石造宝塔	院内町斉藤	昭和57年3月19日	個人
41 吉祥寺石造異形国東塔	院内町大重見	昭和57年3月19日	個人
42 木造毘沙門天立像	院内町高並	昭和57年3月19日	金谷寺
43 木造宝冠釈迦如来坐像	院内町高並	昭和57年3月19日	金谷寺
44 恵良神社神輿	院内町下恵良	昭和57年3月19日	恵良神社
45 打上橋	院内町高並	昭和57年3月19日	宇佐市
46 西光寺橋	院内町月俣	昭和57年3月19日	宇佐市
47 荒瀬橋	院内町副	昭和57年3月19日	宇佐市
48 富士見橋	院内町斉藤	昭和57年3月19日	宇佐市
49 一の橋	院内町北山	昭和57年3月19日	宇佐市
50 分寺橋	院内町温見	昭和57年3月19日	宇佐市
51 久地橋(石造桁橋)	院内町斉藤	昭和57年3月19日	宇佐市
52 来鉢の大絵馬	院内町来鉢	昭和62年7月27日	来鉢地区
53 来鉢の半鐘	院内町来鉢	昭和62年7月27日	来鉢地区
54 塔の原石造宝塔	院内町下船木	昭和63年5月12日	下舟木地区
55 緒方家石造五輪塔	院内町土岩屋	昭和63年5月12日	個人
56 緒方家石造層塔	院内町土岩屋	昭和63年5月12日	個人
57 教蓮寺六地藏石幢	院内町原口	昭和63年5月12日	教蓮寺
58 西宝寺本方便法身尊影	院内町下恵良	昭和63年5月12日	西宝寺
59 定別岩屋観音堂鱉口	院内町山城(宇佐市院内支所)	昭和63年5月12日	宇佐市
60 大龍寺跡梵鐘	院内町西椎屋	昭和63年5月12日	西椎屋地区
61 杉園家鑄鉄雪見燈籠	院内町檜野	昭和63年5月12日	個人
62 西宝寺輪蔵	院内町下恵良	昭和63年5月12日	西宝寺
63 飯塚橋	院内町下余	平成3年9月4日	宇佐市
64 小野家木造十二神將立像	院内町月俣	平成13年3月22日	個人
65 宝蓮寺読誦石塔	院内町下余	平成13年3月22日	宝蓮寺
66 宮の瀬橋	院内町斉藤	平成13年3月22日	宇佐市
67 御飯屋橋	院内町小稲	平成13年3月22日	宇佐市
68 三千仏図	大字南宇佐	昭和45年2月6日	大楽寺
69 舍利塔	大字南宇佐	昭和45年2月6日	大楽寺
70 聖観世音菩薩立像(2)	大字南宇佐	昭和45年2月6日	大楽寺

名 称	住 所	指定年月日	所有 / 管理
71 大楽寺文書(17)	大字南宇佐	昭和45年2月6日	大楽寺
72 髪纏浄土曼荼羅	大字南宇佐	昭和45年2月6日	極楽寺
73 葛原古墳出土遺物	宇佐市民図書館(寄託)	昭和50年3月31日	葛原地区共有
74 埴仏(1)	大字上田	昭和50年3月31日	宇佐市
75 埴仏(1)	大字森山	昭和50年3月31日	教覚寺
76 検地帳(写)	大字東高家	昭和50年3月31日	個人
77 地藏石仏	大字法鏡寺	昭和50年3月31日	任聖寺
78 宝篋印塔	大字大塚	昭和50年3月31日	積善寺
79 国東塔	大字上乙女	昭和50年3月31日	有近寺
80 国東塔(2)	大字下乙女	昭和50年3月31日	松月寺
81 国東塔	大字赤尾	昭和50年3月31日	天竜寺
82 十一面千手観音立像	大字清水	昭和50年3月31日	清水寺
83 不動尊像	大字正覚寺	昭和50年3月31日	個人
84 六地藏尊板刻像	大字葛原	昭和50年3月31日	華藏寺
85 不動明王立像	大字日足	昭和50年3月31日	地藏院
86 能面(3)	大字四日市	昭和50年3月31日	桜岡神社
87 宝塔	大字山口	昭和50年3月31日	個人
88 層塔(軸部)	大字下高家	昭和50年3月31日	安福寺
89 梵鐘	大字上元重	昭和50年3月31日	法音寺
90 矢治文書	大字中原	昭和50年3月31日	個人
91 神能明覧(4)	大字南宇佐	昭和50年3月31日	宇佐神宮
神能奉仕功勞物故者芳名録(3)			
92 木造釈迦如来坐像	大字下矢部	昭和52年3月31日	長興寺
93 木造毘沙門天立像	大字江須賀	昭和52年3月31日	江須賀地区共有
94 木造薬師如来坐像	大字上乙女	昭和52年3月31日	有近寺
95 国東塔	大字上庄	昭和52年3月31日	広山神社
96 国東塔	大字下乙女	昭和52年3月31日	個人
97 元重文書	大字山下	昭和52年3月31日	個人
98 辛島文書	大字四日市	昭和52年3月31日	個人
99 樋田文書	大字東高家	昭和52年3月31日	個人
100 広崎文書	宇佐市民図書館(寄託)	昭和52年3月31日	個人
101 渡辺文書	大字四日市	昭和52年3月31日	個人
102 麻生文書	大字四日市	昭和52年3月31日	個人
103 板碑(2)	大字麻生	昭和55年3月28日、 平成2年3月31日追加	麻生地区共有
104 虚空蔵寺木造仏像(2)	大字山本	昭和55年3月28日	虚空蔵寺
105 鷹栖観音堂木造仏像(3)	大字山本	昭和55年3月28日	鷹栖観音堂惣代
106 木造阿弥陀如来立像	大字南宇佐	昭和55年3月28日	円通寺
107 神子禪師栄尊の頂相頭部残欠	大字南宇佐	昭和55年3月28日	円通寺
108 到津公著序文御祓会絵図	大字南宇佐	昭和55年3月28日	宇佐神宮
109 今仁恕子文書	大字今仁	昭和55年3月28日	個人
110 今仁共有文書	大字今仁	昭和55年3月28日	個人
111 緒方文書	大字四日市	昭和55年3月28日	個人
112 高牟礼文書	大字下高	昭和55年3月28日	個人
113 元重真一文書	県立歴史博物館(寄託)	昭和55年3月28日	個人
114 宇佐神宮短刀・脇差(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
115 幣板(8)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
116 金銅鈴(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
117 鯛口	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
118 御装束(3)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
119 八幡宇佐宮境内略図木版(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮

名 称	住 所	指定年月日	所有 / 管理	
120	銅鏡(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
121	宇佐神宮所蔵文書(4)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
122	時枝家所蔵文書	大字南宇佐	昭和58年3月31日	個人
123	小野家所蔵文書	宇佐市民図書館(寄託)	昭和58年3月31日	個人
124	吉村文書	大字閣	昭和58年3月31日	個人
125	矢部文書	大字下矢部	昭和58年3月31日	個人
126	山村文書	大字山袋	昭和58年3月31日	個人
127	長洲村分間図	大字佐々礼	昭和58年3月31日	個人
128	八幡縁起絵巻(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
129	木造金剛力士像(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
130	欄間(3)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
131	銅戈(4)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
132	銅鉾	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
133	棟札一括(12)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
134	六地藏石幢	大字南宇佐	昭和58年3月31日	大桑寺
135	古寺敷知氏所蔵文書	大字赤尾	昭和62年3月31日	個人
136	仏舎利塔	大字南宇佐	昭和62年3月31日	極楽寺
137	板碑	大字山口	平成2年3月31日	個人
138	旧桂懸井手の水路橋	大字山本	平成2年3月31日	山本地区共有
139	善光寺文書	大字下時枝	平成2年3月31日	善光寺
140	奥田家文書(南一郎平書簡等)	宇佐市民図書館	平成2年3月31日	宇佐市・個人
141	中須賀村等絵図	大字江須賀	平成2年3月31日	個人
142	橋津組出光村絵図控附同村明細書	大字蠅木	平成2年3月31日	個人
143	庚申塔	大字南宇佐	平成5年3月26日	伏田地区
144	庚申塔	大字法鏡寺	平成5年3月26日	個人
145	庚申塔(2)	大字蠅木	平成5年3月26日	個人
146	庚申塔	大字畑田	平成5年3月26日	個人
147	教覚寺経蔵・輪蔵	大字森山	平成5年3月26日	教覚寺
148	宇佐郡中津領矢頭組略絵図	大字赤尾	平成7年3月28日	個人
149	国東塔	大字西屋敷	平成8年2月27日	個人
150	木造地藏菩薩坐像	大字高森	平成22年2月1日	崇福寺

史 跡

01	奥城石棺墓	安心院町下毛	昭和49年2月8日	下毛地区
02	下市百穴	安心院町下毛	昭和49年2月8日	下毛地区
03	宮ノ原遺跡	安心院町下毛	昭和57年4月28日	宇佐市
04	龍王城跡	安心院町龍王	昭和49年2月8日	竜王地区
05	佐田城跡	安心院町佐田・笹ヶ平	昭和57年4月28日	佐田・且尾地区
06	飯田城跡	安心院町飯田	昭和57年4月28日	個人
07	鳥越城跡	安心院町鳥越	昭和57年4月28日	宇佐市・鳥越地区
08	安心院千代松丸碑	安心院町上市	昭和57年4月28日	上市地区
09	飯田左京進碑	安心院町飯田	昭和57年4月28日	個人
10	賀来惟熊碑	安心院町且尾	昭和57年4月28日	個人
11	賀来有軒・佐之・飛霞墓	安心院町且尾	昭和57年4月28日	個人
12	佐田秀墓	安心院町内川野	昭和57年4月28日	個人
13	帆足万里詩碑	安心院町東椎屋	昭和57年4月28日	東椎屋地区
14	京石	安心院町熊	昭和49年2月8日	個人
15	妻垣神社奥宮巨石	安心院町妻垣	昭和50年10月17日	妻垣地区
16	重松家別邸一棟	安心院町折敷田	昭和57年4月28日	個人
17	桂昌寺地獄極楽	安心院町東惠良	昭和49年2月8日	東惠良地区

名 称	住 所	指定年月日	所有 / 管理
18 栗ノ木磨崖仏	安心院町飯田	平成16年6月1日	個人
19 孝婦伊知の墓	大字上矢部	昭和49年7月15日	個人
20 キリシタン地蔵	大字上敷田	昭和50年3月31日	個人
21 西貝神社	大字南鶴田	昭和50年3月31日	南鶴田地区共有
22 化粧井戸	大字北宇佐	昭和50年3月31日	宇佐神宮
23 扇塚古墳	大字城井	昭和50年3月31日	個人
24 御塚石棺	大字荒木	昭和50年3月31日	個人
25 鷹栖観音堂地域	大字山本	昭和50年3月31日、 昭和55年3月28日追加	上拝田・下拝田・山本地区共有
26 四日市陣屋跡	大字四日市	平成2年3月31日	宇佐市
27 城井一号掩体壕	大字城井	平成7年3月28日	宇佐市
28 高居地下壕	大字上田	平成17年8月15日	宇佐市
29 水雲横穴古墳群	院内町原口	昭和53年3月31日	宇佐市
30 福厳寺間魔洞	院内町二日市	昭和57年3月19日	福厳寺
31 大弓家墓地石造宝塔群	院内町大重見	昭和57年3月19日	個人
32 龍岩寺境内	院内町大門	平成元年2月27日	龍岩寺
33 反射炉碑	安心院町佐田	昭和57年4月28日	佐田神社
34 宇佐海軍航空隊落下傘整備所(レンガ建物)	大字江須賀	平成25年3月29日	宇佐市
35 宇佐海軍航空隊半地下式コンクリート造建物	大字江須賀	平成25年3月29日	宇佐市
36 宇佐海軍航空隊関係爆弾池	大字川部	平成25年3月29日	個人

有形民俗文化財

01 鬼面(2)	大字上拝田	昭和45年2月6日	観音寺
02 五百羅漢・仏足石	大字江須賀	昭和48年4月1日	東光寺
03 御許山茅刈入許可証(2)	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
04 火鑽臼杵	大字南宇佐	昭和58年3月31日	宇佐神宮
05 陶製地藏菩薩坐像	安心院町龍王	平成22年2月1日	妙菴寺

無形民俗文化財

01 安心院神楽	安心院町	昭和53年12月1日	安心院神楽社
02 庭入り	安心院町	昭和57年4月28日	旧安心院町一帯
03 北山神楽	院内町	平成3年9月4日	北山神楽保存会

無形民俗文化財(選択)

01 鷹栖観音の鬼会	大字山本・上拝田	昭和50年3月31日	
02 麻生神楽	大字中麻生	平成10年12月24日	郷土芸能保存会麻生神楽

天然記念物

01 宇佐神宮のヒメハルゼミ	大字南宇佐	平成10年3月31日	
02 西椎屋大銀杏	院内町西椎屋	昭和50年5月23日	西椎屋地区
03 荒尾家のハシラサボテン	院内町温見	平成8年3月25日	個人
04 小稲のオトメクジャク	院内町小稲	平成13年3月22日	個人
05 東椎屋のイチイガシ	安心院町東椎屋	昭和51年12月2日	東椎屋地区
06 エヒメアヤマ自生地	安心院町萱籠	昭和57年4月28日	萱籠地区

市登録有形文化財

01 宇佐海軍航空隊関係蓮光寺生き残り門	大字江須賀	平成25年3月29日	蓮光寺
02 院内町沖の繻絵	院内町沖	平成25年3月29日	個人

市登録史跡

01 法蓮法器塚	院内町高並	平成20年6月1日	
02 細川幸隆廟所	安心院町龍王	平成20年6月1日	
03 白山神社遺跡	安心院町内川野	平成20年6月1日	

宇佐を道草しよう!

偉大な歴史にふれる途中でちょっとひと息。海と大地が育む食文化や、悠久の時を刻む豊かな自然は、訪れた人々に「来て良かった」の笑顔をもたらしてくれます。山海の幸に舌鼓を打ち、自然とふれ合いながら宇佐の「今」をご堪能あれ。

MICHI-KUSA GUIDE

グルメ

MICHI-KUSA GUIDE

海、山、里の恵みがいっぱい!

大分の鶏料理文化の立役者

宇佐からあげ



大分名物とり天と宇佐・中津に代表されるからあげは、大分県民のソウルフードとして日常の食卓によく並びます。それゆえ大分県は1人当たりの鶏肉消費量が全国トップクラス。特に宇佐にはからあげ専門店が30店以上あり、昭和30年代に1号店ができたことから「からあげ専門店発祥地」と言われています。各店それぞれに味が異なるのは、鶏肉を漬け込む秘伝のタレに秘策があり、醤油にニンニク・ショウガなどの薬味や、野菜をすり下ろして入れたりと様々。毎年11月には市内のからあげ店が一堂に会する「からあげ祭り」が開催され、からあげの食べ比べを楽しむことができます。

主役に躍り出た薬味

味一ねぎ

宇佐産の味一ねぎは、刻んでふんだんに入れたお好み焼き風の「ねぎ焼き」や、長さ10cmほどに切りそろえてハモや豊後牛と一緒にしゃぶしゃぶで食べる「ねぎしゃぶ」など、主役級に食卓を賑わせます。ビタミンとミネラル豊富なねぎをたっぷり摂ることのできるヘルシーメニューです。

院内のどじょう

院内町の活性化を担う特産物・どじょう。大分県が開発した養殖技術により、泥を使わず清水で育てることができるので、くさみのないおいしいどじょうが味わえます。創業210年の歴史を誇る東京・浅草の「駒形どぜう」でも使われているというお墨付き。からあげや柳川鍋など骨付きを丸ごと味わえばカルシウムもたっぷり。



老舗も認める高い品質!

安心院のすっぽん

文豪も愛した滋養食

かの松本清張も好んで食べたと言う安心院のすっぽん。くさみがなく、その姿からは想像もできないほどあっさりとした身は、鍋やからあげのほか、刺身で食べられるのも産地の特権です。疲労回復や滋養強壮に良いと昔から珍重され、低脂肪でコラーゲンをたっぷり含んでいることから、美容効果を期待する女性の間でも注目の食材。自宅でも気軽に味わえる鍋のセット（地方発送）や、すっぽんエキスで作るゼリーなども人気です。



まちに広がるやさしい香りと豊かな実り



院内のゆず

西日本有数の生産量を誇るゆずの産地・院内。ゆずごしょうやポン酢、ジャムなどの加工品も豊富で、「道の駅いんない」で販売されている「ゆずソフト」も人気です。

幸せと旨みがぎゅっ



豊幸ガニ

長洲漁港で水揚げされるワタリガニは、豊かな海・豊前海で育ったことから「豊幸ガニ」と呼ばれています。夏から冬にかけて旬を迎え、特に秋は身がぎゅっしり、甘みもたっぷり凝縮され、小ぶりながらも味の良さが自慢。市内の料亭では予約がおすすめです。

ぶどう職人の集大成



安心院ワイン

寒暖の差が大きい安心院盆地は格好のぶどうの産地で、良質なぶどうで作ったワインは国内でも高い評価を得ています。家族旅行村内にある「安心院葡萄酒工房」では、ワインの製造工程の見学や試飲ができるので、お気に入りのワインを探してみても?

安心院葡萄酒工房
TEL.0978-34-2210

安心院のぶどう

安心院盆地を覆う底霧と朝夕の寒暖の差がぶどうの栽培に適しており、現在では西日本有数の生産量を誇る産地です。7月中旬から10月上旬にかけて観光ぶどう園ではぶどう狩りを楽しむことができます。

土と水と太陽と…。伝統の麵作り



長洲の乾麺

良質な小麦と地下水が育んだ長洲の種。古くから製麺業が盛んで、生地を天日干しする風景は長洲の風物詩です。今も昔ながらの製法で作られ、風味豊かなうどんやそうめんは「天日干し乾麺」として贈答品にも用いられます。

麦焼酎の聖地

くせがなくさらりとした飲み口が愛飲家の間で話題となり、焼酎ブームを作った宇佐の麦焼酎。肥沃な大地が育てた麦と麦麴を原料に、古くから続く蔵元の心意気が、焼酎の生産量・売上高ともに日本一の快挙を達成しました。



MAP P1-B3

道の駅 いんない

朝採れ野菜やゆず加工品など院内の特産品を販売。レストランでは猪肉や山菜で作る郷土料理が味わえます。天然記念物・オオサンショウウオを見たり、石橋巡りはここで情報をゲット。

TEL.0978-42-5539

☎ 宇佐市内町副1381-2

🕒 9:00~18:00 📍 なし



MAP P1-B3

里の駅 小の岩の庄

新鮮な農産物をはじめ、安心院ぶどうで作ったワインやゼリーなどの加工品があります。安心院名物すっぽん料理や巨峰ソフトクリームなど安心院ならではの味を召し上がれ。

TEL.0978-34-2224

☎ 宇佐市安心院町戸方7-1 📍 なし

🕒 8:30~17:30 (レストラン10:00~17:00)



MAP P1-A1 P2-B1

里の駅 双葉の里

双葉山の行跡を迎える資料の展示や復元された生家の内部を見学することができます。販売コーナーには双葉山グッズや地元特産品もあります。

TEL.0978-33-5255

☎ 宇佐市大字下庄269 🕒 9:00~17:00

📅 第3月曜(祝日の場合は翌日)



MAP P1-B3

ワイナリーレストラン 朝霧の庄

宇佐産ワインと豊後牛で贅沢気分!霜降りや和牛の焼肉やとろとろに煮込んだビーフシチューなどワインにピッタリのメニューが揃っています。販売用のワインも豊富。

TEL.0978-44-1236

☎ 宇佐市安心院町下毛828-2 🕒 12/30~1/1

🕒 8:30~17:00 (冬期9:00~16:00)

体験

MICHIKUSA GUIDE

自然の中で大人も、子どもも!

グリーンツーリズム

農家に泊まって農業を体験し、そのまちの自然や人々の暮らしに触れるグリーンツーリズム。安心院はグリーンツーリズム発祥の地で、年間約1万3000人が訪れています。澄んだ空気を大きく吸い込み、土に触れ、湧水に手をかざし、人々のあたたかさを感じることで心も体もリフレッシュ。現在、市内には30軒の農村家庭が農村体験を受け入れています。



MAP P1-B3

家族旅行村「安心院」

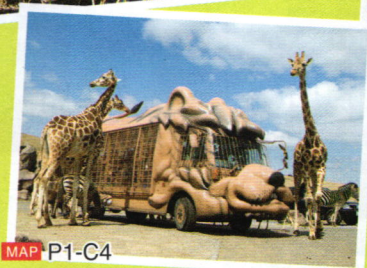
開放感いっぱいの広大な敷地には、102メートルのローラー式ジャンボすべり台やテニスコート、パットゴルフなど家族で楽しめる施設が充実しています。冷暖房完備のケビンやバンガロー、温泉センターがあるので、キャンプや宿泊も安心。

TEL.0978-44-1955

〒宇佐市安心院町下毛1046 休なし
9:00~17:00(曜日により変更あり) 30台

九州自然動物園 アフリカンサファリ

サファリ形式で70種・1400頭もの動物の生息が観察できる九州唯一の自然動物園。ジャングルバスに乗れば、動物たちがほど近い距離まで寄ってくるスリルを味わうことができます。「ふれあいゾーン」ではカンガルーやリスザルにエサを与えたり、記念写真を撮って思い出の1シーンを。



MAP P1-C4

TEL.0978-48-2331

〒宇佐市安心院町南畑2-1755-1
9:00~17:00(11月~2月は10:00~16:00)
休なし 1500台
大人2,300円、4才~中学生まで1,300円



MAP P1-B2

ソニックパーク安心院

約1kmのカートコースに14のコーナーと最長170mの直線がある本格カートレース場。キッズカートもあります。カートはもちろんヘルメットやレーシングスーツの貸し出しもOK。

TEL.0978-44-0322

〒宇佐市安心院町木堂985-1
9:00~17:00(曜日により変更あり)
休 火曜 P60台
レンタルカート1回券2,100円~



MAP P1-A4

よかろうパークキャンプ場

人見岳の中腹に広がる約30万坪の自然公園には、岩に囲まれた河川プール、釣り堀、200人収容のキャンプ場・バンガローがあります。マウンテンバイクをレンタルしたり、山菜採りや昆虫採集など、山の自然を存分に満喫できます。

TEL.0978-42-7395

〒宇佐市内町羽馬礼
7月第2日曜~8月31日 100台



MAP P1-B3

宇佐市平成の森公園

県内唯一の屋根付運動広場「石橋童夢」は床が土でできているので、ソフトテニスやゲートボール、相撲などに利用できます。ナイター照明のある野球場、陸上競技、サッカーなど多目的運動広場で、思いっきり体を動かしてみよう。

TEL.0978-42-5894

〒宇佐市内町原口 9:00~22:00
休 第3日曜(祝日の場合は変更あり) 500台

温泉

MICHI-KUSA GUIDE

極楽に身をまかせる!



おんせん県・大分の実力は別府・湯布院だけにあらず。ほのかに木が香る天然杉の湯船、田園の中に現れる野趣あふれる露天、窓からまちを見渡すホテルの湯など、泉質も湯量もバリエーションも豊富に揃っています。



かんぽの郷宇佐

泉質 炭酸水素塩泉

〒 宇佐市大字川部1571-1
☎ 0978-37-2288
🕒 10:00~21:00
🏠 12月に2日間あり

入浴料・530円~



金屋温泉

泉質 炭酸水素塩泉

〒 宇佐市大字金屋1781-3
☎ 0978-38-6222
🕒 11:00~22:00
🏠 第1・3・5水曜

入浴料・330円~



安心院亀の井ホテル

泉質 ナトリウム塩化物泉

〒 宇佐市安心院町下毛1046-1
☎ 0978-44-1850
🕒 12:00~24:00
🏠 なし

入浴料・420円~



上恵良温泉

泉質 単純泉(弱アルカリ性)

〒 宇佐市院内上恵良780
☎ 0978-42-5875
🕒 9:30~21:00
🏠 木曜

入浴料・300円~



旅庵みずほ温泉荘

泉質 単純泉

〒 宇佐市大字出光159-1
☎ 0978-37-0211
🕒 11:00~20:00
🏠 月曜

入浴料・1,500円~(家族風呂1時間)

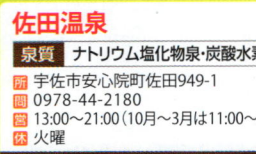


まほろば温泉・菟狭

泉質 炭酸水素塩泉

〒 宇佐市大字川部1584
☎ 0978-37-3711
🕒 9:00~23:00
🏠 なし

入浴料・400円~

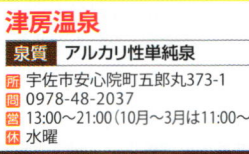


佐田温泉

泉質 ナトリウム塩化物泉・炭酸水素塩泉

〒 宇佐市安心院町佐田949-1
☎ 0978-44-2180
🕒 13:00~21:00(10月~3月は11:00~20:00)
🏠 火曜

入浴料・250円~

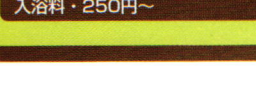


津房温泉

泉質 アルカリ性単純泉

〒 宇佐市安心院町五郎丸373-1
☎ 0978-48-2037
🕒 13:00~21:00(10月~3月は11:00~20:00)
🏠 水曜

入浴料・250円~



いんない余温泉

泉質 ナトリウム塩化物泉

〒 宇佐市院内町上余157-1
☎ 0978-42-7048
🕒 12:00~21:00(10月~3月は12:00~20:00)
🏠 水曜

入浴料・250円~



安心院温泉センター

泉質 ナトリウム塩化物泉

〒 宇佐市安心院町下毛1046-1
☎ 0978-44-1988
🕒 8:00~22:00(11月~5月は10:00~21:00)
🏠 なし

入浴料・300円~

長洲温泉センター

泉質 含食塩・重曹泉

〒 宇佐市大字長洲3712-16
☎ 0978-38-0144
🕒 11:00~21:30
🏠 金曜

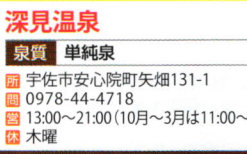
入浴料・300円~

院内妙見温泉

泉質 ナトリウム塩化物泉

〒 宇佐市院内町櫛野883-2
☎ 0978-42-5900
🕒 10:00~24:00
🏠 第2・4水曜

入浴料・300円~



深見温泉

泉質 単純泉

〒 宇佐市安心院町矢畑131-1
☎ 0978-44-4718
🕒 13:00~21:00(10月~3月は11:00~20:00)
🏠 木曜

入浴料・250円~

宇佐に泊まる

料理自慢・温泉自慢・もてなし自慢の宿から、個性豊かな農村民泊など、目的に合わせて選べる宿泊施設が揃っています。

宿泊施設

かんぼの郷 宇佐	〒宇佐市大字川部 1571-1	☎0978-37-2288
宇佐ホテルリバーサイド	〒宇佐市大字別府 6	☎0978-33-2222
パブリック 21	〒宇佐市大字辛島 230	☎0978-33-3355
三林亭	〒宇佐市大字長洲 357-1	☎0978-38-0026
旅庵みずほ温泉荘	〒宇佐市大字出光 159-1	☎0978-37-0211
こおした旅館	〒宇佐市大字南宇佐 2184-1	☎0978-37-0148
菊水旅館	〒宇佐市大字法鏡寺 95-4	☎0978-32-0442
なるみ旅館	〒宇佐市大字四日市 1441-2	☎0978-32-0147
安心院亀の井ホテル	〒宇佐市安心院町下毛 1046-1	☎0978-44-1850
家族旅行村「安心院」	〒宇佐市安心院町下毛 1046-1	☎0978-44-1955
やまさ旅館	〒宇佐市安心院町下毛 1785	☎0978-44-0002
津房館	〒宇佐市安心院町六郎丸 477-2	☎0978-48-2208
民宿三万七千石	〒宇佐市安心院町下毛 2124-3	☎0978-44-1171
民宿滝見苑	〒宇佐市安心院町東榎屋 802	☎0978-48-2749

グリーンツーリズム農村民泊

松木ファームドン・百姓亭	〒宇佐市安心院町川底 68	☎0978-44-4618
王様の小屋・王様の小屋母屋	〒宇佐市安心院町下毛 1193-1	☎0978-44-0155
しいたけ村	〒宇佐市安心院町戸方 180	☎0978-44-0459
そこぎりの舎	〒宇佐市安心院町下毛 1034	☎0978-44-0517
百年乃家ときえだ	〒宇佐市安心院町且尾 206	☎0978-44-0811
やわらかまんじゅう	〒宇佐市安心院町鳥越 45-2	☎0978-44-4405
舟板昔ばなしの家	〒宇佐市安心院町舟板 99	☎0978-44-4663
龍泉亭	〒宇佐市安心院町上内河野 509	☎0978-44-4863
星降る高台の家	〒宇佐市安心院町広連 460-1	☎0978-44-4541
竹取物語もっちゃんち	〒宇佐市安心院町恒松 426	☎0978-44-0101
桃源郷こひら	〒宇佐市安心院町筈ノ口 1558	☎0978-44-4926
岩清水むら	〒宇佐市安心院町佛木 140	☎0978-44-4779
悠々の里家	〒宇佐市安心院町矢畑 222	☎0978-34-2655
泉屋	〒宇佐市内町温見 494	☎0978-42-6354
ほたるの里の味工房「おひとよし」	〒宇佐市安心院町松本 1412	☎0978-48-2542
ふかみの里 倶会一処	〒宇佐市安心院町大 248	☎0978-44-4226
湧水郷 こごみの里	〒宇佐市安心院町寒水 528	☎0978-44-4396
寒水のしんや	〒宇佐市安心院町寒水 343	☎0978-44-4922
和の家	〒宇佐市安心院町元 200	☎0978-44-4809
ゆずりはの里	〒宇佐市安心院町筈ノ口 1452	☎0978-44-4039
夕陽が丘の舎	〒宇佐市安心院町橋本 590-3	☎0978-44-0143
一草庵	〒宇佐市内町高並 441-2	☎0978-42-5114
たまちゃんの縁側	〒宇佐市内町宮原 192 番地	☎0978-42-6613
古里ガーデン森山	〒宇佐市安心院町川底 331	☎0978-44-4611

交通に関するお問い合わせ

JR 柳ヶ浦駅	☎0978-38-0149
JR 宇佐駅	☎0978-37-0004
JR 豊前善光寺駅	☎0978-32-0319

大分交通（路線バス）
☎097-534-7455

大分交通（高速バス）
☎097-536-3655

大分空港バス案内所
☎0978-67-1198

大分空港
☎0978-67-3800

大分空港総合案内所
☎0978-67-1174

ANA(全日空)
☎0120-029-222

JAL(日本航空)
☎0120-25-5971

スオーナダフェリー
☎0978-84-0114

関西汽船別府営業所
☎0977-22-2181

ダイヤモンドフェリー大分営業所
☎097-536-5500

宇和島運輸フェリー
☎0894-23-2536

中津太陽交通宇佐営業所
☎0978-32-0101

清瀬タクシー
☎0978-32-0333

院内タクシー
☎0978-42-5011

安心院タクシー
☎0978-44-1121

ほんちみなとタクシー
☎0978-44-1188

トヨタレンタリース宇佐営業所
☎0978-37-3312

中津レンタカー宇佐営業所
☎0978-37-3807

日産レンタカー宇佐営業所
☎0978-33-2332

J
R

バ
ス

飛
行
機

船

タ
ク
シ
ー

レ
ン
タ
カ
ー

宇佐市 年間行事

1月

1日	初詣	宇佐神宮
4日	鬼会	鷹栖観音
10日	鷹栖観音千日参り	鷹栖観音
3日	新年俳句大会	宇佐神宮
第1土曜	新年短歌大会	宇佐神宮
第3日曜	新年囲碁大会	宇佐神宮

2月

13日	鎮疫祭 / 御心経会	宇佐神宮
-----	------------	------

3月

上旬 第3日曜	米神山巨石祭 石橋マラソン	安心院町佐田 平和の森スポーツ公園
------------	------------------	----------------------

4月

中旬~9月 29日 29日	潮干狩り 大元神社大祭 鹿嵐しゃくなげ探勝会	和間海浜公園 御許山 鹿嵐山
---------------------	------------------------------	----------------------

5月

3日 3日~5日	全国選抜大学相撲宇佐大会 祇園まつり / 葵まつり	総合運動場相撲場 長洲加茂神社
-------------	------------------------------	--------------------

6月

下旬~7月上旬 26日	滝開き 御田植祭	東椎屋 / 福貴野の滝 宇佐神宮
----------------	-------------	---------------------

7月

中旬~下旬 月末の金・土・日 7月~10月 中旬 第3日曜	みなと祭り / 花火大会 宇佐神宮御神幸祭 / 夏越祭り 観光ぶどう狩り ジャマイカ村 香下湖畔まつり	長洲漁港周辺 宇佐神宮 観光農園 平成の森スポーツ公園 香下ダム
---	---	--

8月

上旬 上旬~中旬 中旬 15日 下旬	宇佐市七夕夏祭り 安心院盆地祭り 夏祭り花火大会 精霊送り ふるさと高並法連まつり	四日市商店街 安心院文化会館前 平成の森スポーツ公園 長洲地区 高並神社
--------------------------------	---	--

9月

上旬 第1日曜 下旬 下旬	安心院ワイン祭り 全国選抜高校相撲宇佐大会 天神祭 秋光祭	家族旅行村グランド 総合運動場相撲場 桜岡神社 光岡城跡
------------------------	--	---------------------------------------

10月

体育の日を含む土・日・月 中旬 20日 / 楽打・21 神能 下旬	仲秋祭 / 放生会 なんぶん市 風除報賽祭 副城址まつり	宇佐神宮・和間神社 南院内コミュニティーセンター 宇佐神宮 東院内コミュニティーセンター
--	---------------------------------------	---

11月

上旬 中旬 23日 第3日曜の前後3日間	龍岩寺まつり 全国薬こずみ大会 新嘗祭 秋まつり	龍岩寺 市内の水田 宇佐神宮 長洲神社
-------------------------------	-----------------------------------	------------------------------

12月

11日~16日 31日	お取り越し 除夜祭	東西本願寺・四日市別院 宇佐神宮
----------------	--------------	---------------------



ボランティアガイド

ガイド本には載っていないとおきのエピソードも交えながら、人気の観光名所を案内してくれます。



宇佐神宮ガイド

全国4万余社ある八幡社の総本宮・宇佐神宮には「神仏習合」の宗教文化が残っています。

【所要時間】60分 【料金】1,000円(60分)

【問】宇佐市観光協会 【TEL】0978-37-0202



宇佐航空隊遺構ガイド

154名の若者が「神風特別攻撃隊」として飛び立った場所などを回ります。

【所要時間】30～60分 【料金】1人200円(資料代含)

【問】宇佐市観光まちづくり課 【TEL】0978-32-1111



四日市門前町ガイド

真宗の東西別院が墓を並べた「九州御坊」は全国でも類がありません。

【所要時間】60分 【料金】1,000円(60分)

【問】宇佐市観光協会 【TEL】0978-37-0202



長洲せど間ガイド

軒と軒がくっつくほど狭い路地「せど間」。迷路のような長洲のせど間を散策します。

【所要時間】60分 【料金】1人1,000円

【問】宇佐市観光まちづくり課 【TEL】0978-32-1111



安心院鏝絵ガイド

左官が壁を塗る鏝で描いた鏝絵。安心院町内だけで約100カ所見ることができます。

【所要時間】30～60分

【料金】5名以下500円、団体1,000円

【問】観光協会安心院支部 【TEL】0978-34-4839



院内石橋ガイド

院内にある75基の石橋のうち、めがね橋は64基と日本一の数を誇っています。

【所要時間】30～60分

【料金】ガイド1人につき1,000円

【問】観光協会院内支部 【TEL】0978-42-6040

INDEX

50音順インデックス

あ	朝顔、雷(鏝絵)	P27	滑走路跡	P19
	味ーねぎ	P55	雁に人(鏝絵)	P27
	安心院温泉センター	P58	金屋温泉	P58
	安心院亀の井ホテル	P58	鹿嵐山・地藏峠の景・シャクナゲ群生地	P44
	安心院鏝絵ガイド	P61	上恵良温泉	P58
	安心院鏝絵群	P26	川部・高森古墳群(県立歴史博物館)	P11
	安心院のすっぽん	P55	かんぼの郷宇佐	P58
	安心院の朝霧	P39	九州自然動物公園アフリカンサファリ	P57
	安心院ぶどう	P56	孔雀文壺	P8
	安心院ワイン	P56	葛原古墳	P35
	余の滝	P45	グリーンツーリズム	P57
	荒瀬橋	P24	呉橋(宇佐神宮)	P6
	今井橋	P41	柱昌寺跡地獄極楽	P16
	いんない余温泉	P58	高野堂の景	P37
	院内石橋ガイド	P61	虚空蔵寺跡・瓦窯跡群	P37
	院内石橋群	P22	極楽寺	P9
	院内のゆず	P56		
	院内妙見温泉	P58	さ	
	宇佐神宮本殿	P6	最明寺五輪塔	P40
	宇佐海軍航空隊戦争遺跡	P19	桜岡神社(四日市門前町)	P13
	宇佐からあげ	P55	佐田京石・米神山	P42
	宇佐航空隊遺構ガイド	P61	佐田神社	P42
	宇佐参宮線 26号蒸気機関車(クラウス号)	P33	佐田老人憩の家	P58
	宇佐市文化財一覧	P47	里の駅小の岩の庄	P56
	宇佐市平成の森公園	P57	里の駅双葉の里	P56
	宇佐神宮	P4	三女神社	P39
	宇佐神宮ガイド	P61	下市磨崖仏	P39
	宇佐神宮境内 MAP	P8	城井一号掩体号(宇佐海軍航空隊戦争遺跡)	P19
	宇佐神宮社叢	P7	浄土真宗本願寺派四日市別院(四日市門前町)	P13
	宇佐烏居(宇佐神宮)	P7	真宗大谷派四日市別院(四日市門前町)	P13
	えびすさん(四日市門前町)	P12	水雲橋六古墳群	P46
	恵比寿、大黒、鯉の三番叟(鏝絵)	P27	清水寺	P36
	大井 憲太郎	P46	仙岩山の景	P36
	大分県立歴史博物館	P10	仙の岩	P41
	大楠(宇佐神宮)	P4	ソニックパーク安心院	P57
	オオサンショウウオ	P45		
	小坂不動	P46	た	
	お数珠づくり(四日市体験)	P14	大善寺	P9
	鬼のミイラ	P35	大楽寺	P9
	御許山・大元神社	P33	鷹栖観音堂	P15
			鷹栖観音の鬼会(鷹栖観音)	P15
			鷹栖つり橋公園(鷹栖観音)	P15
			岳切溪谷	P44
			超六十連勝力士碑(双葉の里)	P21
か	ガイド付き街並み散策(四日市体験)	P14	勅使街道	P33
	賀来 惟熊	P40	津房温泉	P58
	賀来 飛霞	P40	妻垣神社	P40
	家族旅行村「安心院」	P57		

天福寺奥の院	P35
東光寺五百羅漢	P18
豊幸ガニ	P56
鳥居橋	P23

な 長洲温泉センター	P58
長洲せど間ガイド	P61
長洲の乾麵	P56
長洲の町並み・浜の市	P34
中津市	P65
長野鐵藏	P27
檜本磨崖仏	P39
南光寺仁王像	P40
西椎屋の景と西椎屋大銀杏	P45
西椎屋の滝	P45
年間行事	P60

は 爆弾池	P19
東椎屋のイチイガン(東椎屋の滝)	P25
東椎屋の滝	P25
広瀬井手	P33
深見五重塔	P41
深見温泉	P58
福貴野の滝	P42
福厳寺間魔洞(桂昌寺跡地獄極楽)	P17
福澤諭吉旧居・福澤記念館	表3
分寺橋	P24
富士見橋	P24
豊前善光寺	P34
双葉の里	P20
双葉山定次	P37
双葉山生家跡(双葉の里)	P21
双葉山像(双葉の里)	P21
仏足石(東光寺五百羅漢)	P18
豊後高田市	P65
別府市	P64
逸見邸庭園	P45
帆足万里碑(東椎屋の滝)	P25
宝物館	P8
細川幸隆廟所	P40

ま 松田新之助	P46
まほろば温泉・菟狭	P58
御沓橋	P23
道の駅いんない	P56

光岡城跡	P36
南一郎平	P37
妙楽寺	P36
弥勒寺跡(宇佐神宮)	P6
麦焼酎	P56
夫婦石(宇佐神宮)	P7
門前食おもてなし(四日市体験)	P14

や 山蔵のイチイガン	P41
よからうパークキャンプ場	P57
横光 利一	P37
四日市陣屋跡	P13
四日市体験型観光	P14
四日市人形絵付け(四日市体験)	P14
四日市門前町	P12
四日市門前町ガイド	P61
四日市横穴墓群	P35

ら 龍(鏝絵)	P27
龍岩寺	P28
龍岩寺奥の院礼堂	P29
旅庵みずほ温泉荘	P58
両合棚田・両合川橋	P46

わ ワイナリーレストラン朝霧の庄	P56
鷺(鏝絵)	P27

スタンプで巡る **宇佐**
 豊の国歴史探訪inカチがあるまち

宇佐から
すぐそば

ぐるっとガイド

宇佐の歴史と文化にどっぷりふれたなら、少し足を伸ばして隣接するまちへ。湯けむり香る別府も、懐かしさいっぱい豊後高田も、学びの城下町中津も、宇佐とはまた違った楽しさで出迎えてくれます。



別府

宇佐から
車で
約40分

日本一の温泉郷で地獄のおもてなし!?

日本一の総湧出量と源泉数を誇る、類い希なる温泉郷別府。展望台から別府のまちを見下ろすと、源泉から湧き上る数々の湯けむりが風にたなびく、温泉情緒たっぷりの風景が広がります。



ご当地グルメ

とり天 (別府B級グルメ)

とり天は大人分民に限らず、全国的にメジャーな食べ物だと思ってた…なんて人も多いほど大分では親しまれている一品。その発祥は昭和のはじめに遡り、別府にある東洋軒でまかないとして出されていたそう。



冷麺 (別府B級グルメ)

大陸から伝わった冷麺を日本風にアレンジしたのが別府冷麺。冷麺専門店の多くが店内に製麺機を持ち、独自に作る麺は太く弾力のあるものと中細麺に分かれます。和風ダシに具はキムチとチャーシュー、ゆで卵が、ほとんどの店でトッピングされています。

別府八湯

別府には日本の1割にあたる源泉があり、国際観光都市として豊富な湯が宿泊施設やまちの温泉場を賑わせています。南北約7kmにわたる小さな扇状地ながら、市内を「別府」「浜脇」「観海寺」「堀田」「明礬」「柴石」「鉄輪」「亀川」の8つの温泉地に分けたのは、温泉の泉質や雰囲気はもちろん、それぞれにまちの風景や趣が異なるため。

11種類の泉質のうち10種類が存在する湯をゆっくりご堪能あれ。



別府八湯の「別府温泉」にある竹瓦温泉、レトロな外観には別府のシンボルの存在で、中には普通の通浴場と砂湯があります。

路地裏散歩

古き良き日本の町並みを残す別府の路地裏。特に竹瓦温泉界隈には昔ながらの共同温泉や老舗の名店が当時の面影を落とし、懐かしさを感じさせてくれます。別府八湯語り部の会ボランティアガイド部会が、約3キロメートルの路地裏を散策する「竹瓦かいわい路地裏散歩」を開催しています。

豊後高田

宇佐から
車で
約20分

歩いてみたい! 住んでみたい!

六郷満山文化の歴史や昔のままの姿が残る景観、そして受け継いできた文化遺産…。「住みたい田舎」全国第1位に選ばれた豊後高田市の魅力をのぞいてみませんか?

昭和の町

豊後高田の商店街が活気に溢れていた昭和30年代を甦らせて、まちの活性化へ願いを託した「昭和の町」。昭和の建物の再生やお宝の展示、昭和の味の販売など、町を歩くとき懐かしき時代にタイムスリップ!

ボンネットバス

昭和32年に実際に走っていた「昭和ロマン号」で市内を巡る約3時間のコース。無料で体験できます。
予約・申込み
豊後高田市観光協会
(0978-22-3100)



ご当地グルメ

豊後高田そば

年に2回収穫する希少なそばの実で作る豊後高田のそば。「手打ちそば認定店」では、地元産そば粉を100%使った挽き立て・打ち立て・茹でたての、香り高いそばが味わえます。



コロケ

昭和26年創業「肉のかなか」の「おかみ相伝のおからコロケ」をほおぼりながら歩くのが昭和のまちのひとコマ。

☎ 豊後高田市新町890-2
☎ 0978-22-2137
🕒 8:00~19:00 🚗 水曜

富貴寺

富貴寺大堂は平安末期に創建された九州最古の木造建築で国宝に指定。京都の平等院鳳凰堂、岩手の中尊寺金色堂と並ぶ日本三大阿弥陀堂の一つです。

☎ 豊後高田市田染路
☎ 0978-26-3189
🕒 8:30~16:30 🚗 200円



中津

宇佐から
車で
約30分

風光明媚な山岳風景と城下町文化のすすめ

美しく切り立つ岩山が見守る中で歴史と文化を育んだ中津。福沢諭吉が生まれたまちには、どことなく崇高な風が漂います。

中津城(奥平家歴史資料館)

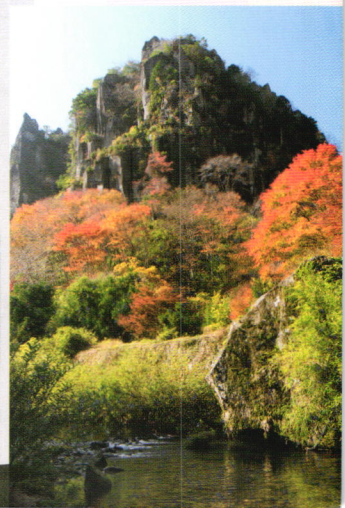
天正16年、築城の名手と言われた黒田如水によって築かれた城。山国川の河口に向かって扇状に広がる形から「扇城」とも呼ばれていました。長篠の戦いで使われた武器や家康直筆の書などが展示されています。

☎ 中津市二ノ本丸
☎ 0979-22-3651
🕒 9:00~17:00 🚗なし 🚗400円 🚗300台



深耶馬溪

鋭く切り立った岩肌が赤く染まる紅葉のシーズンは特に見ごたえあり。ひと目で見渡すことのできるパノラマから「一目八景」と呼ばれています。



ご当地グルメ

中津からあげ

外はカリッと揚がり、中からはジューシーな肉汁がジュワッ。全国にもその名をとどろかせる中津からあげは、店ごとに工夫を凝らしたタレに漬け込み注文を受けてから揚げしていきます。



福澤諭吉旧居・福澤記念館

諭吉が幼少青年期を過ごした住居。勉強部屋にしていた土蔵も見ることができます。記念館には諭吉の記した書や手紙を展示。

☎ 中津市留守居町586
☎ 0979-25-0063
🕒 8:30~17:00
🚗なし
🚗400円
🚗30台

